

令和4年度

日出町老人クラブ連合会



単位老人クラブ会長

一般会員

アンケート調査結果報告

【調査目的・要旨】

65歳以上の高齢者が集合する最大の団体、日出町老人クラブ連合会（以下町連合会）は、休会・解散に至るクラブの増加が続いている。原因の一つとして、コロナ禍による活動不活発化が推測されているが、高齢者の社会参加の機会の減少等による健康状態の悪化・独居高齢者等の孤立化が不安視されている。

そのため、連合会の最少活動単位である単位老人クラブ会長の活動に際する課題を把握するとともに、一般会員の意識調査を実施し、今後の連合会活動と、高齢者の社会参加と生きがい健康づくりを支援する方策展開を考えていくことを目的に実施したものである。

【実施者】

日出町老人クラブ連合会
日出町（介護福祉課）
社福）日出町社会福祉協議会

【調査の内容・経過】

検討会：7月一町連合会役員会・日出町（介護福祉課）・社福）日出町社会福祉協議会の三者による調査内容検討

配布：9月一各単位老人クラブ会長あてに配布（一般会員分含む）

回収：11月一郵便での返送による個別回収

集計：1月一社福）日出町社会福祉協議会

検討会：2月一検討会三者より代表者が集合し集計結果検討と方向性を協議

決定：3月一連合会役員会にてを行い、町連合会役員会にて最終決定

内容：①単位老人クラブ実態調査（単老会長）

会の概要・収支・人材・作業・心情 以上5つの類型について設問

②会員意識調査（単老会員）

現在の会の活動に対する意識・今後の会の活動に対する期待・社会参加と生きがい以上3つの類型について設問

【調査詳細】

詳細については、以後各調査報告に記す



老人クラブ活動活性化の為 のアンケート調査 結果

調査対象：日出町老人クラブ連合会加入単位老人クラブ会長

実 施：令和4年9月配布～11月最終回収

回 収 率：84%（27単老/32単老）

調査実施：日出町老人クラブ連合会

日出町

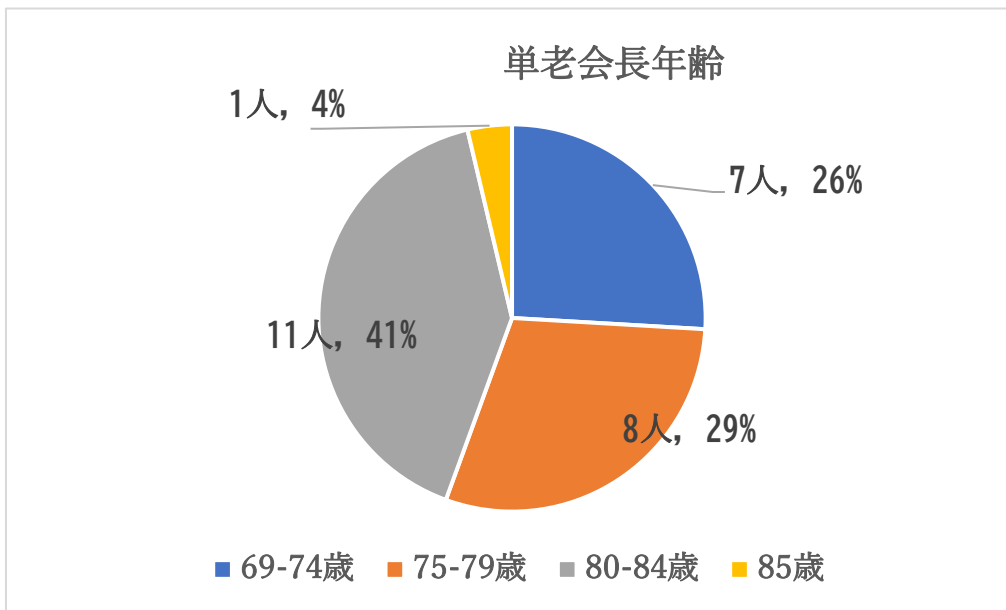
日出町社会福祉協議会（日出町老人クラブ連合会事務局）

作 成：令和5年3月 日出町社会福祉協議会

Q1-老人クラブ名 割愛

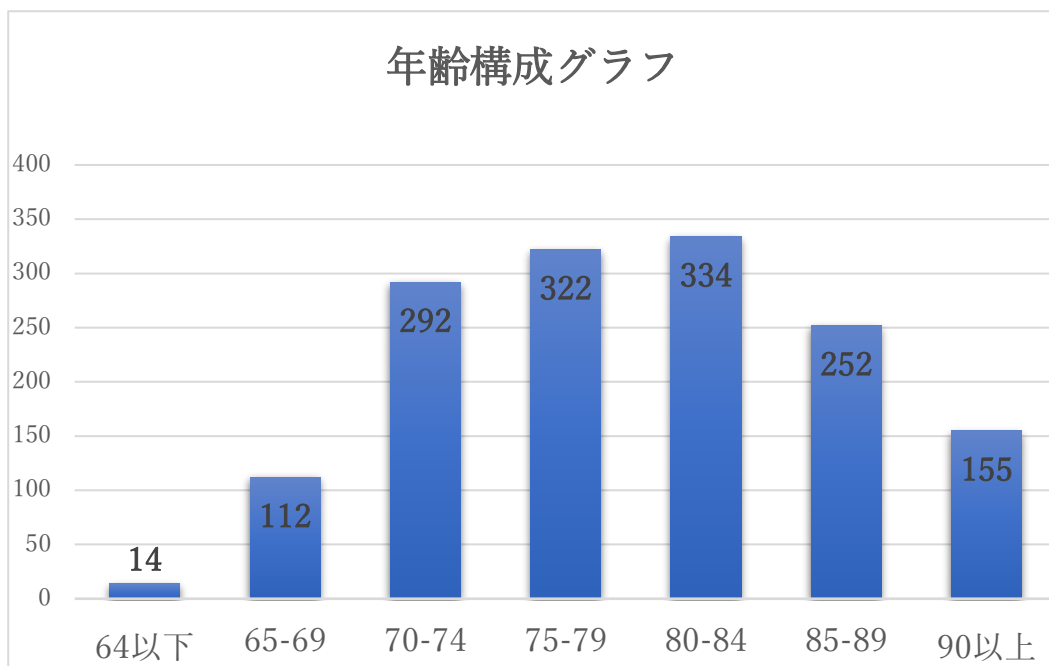
Q2-貴クラブの会長のお名前・年齢を教えてください

平均年齢 77.7歳

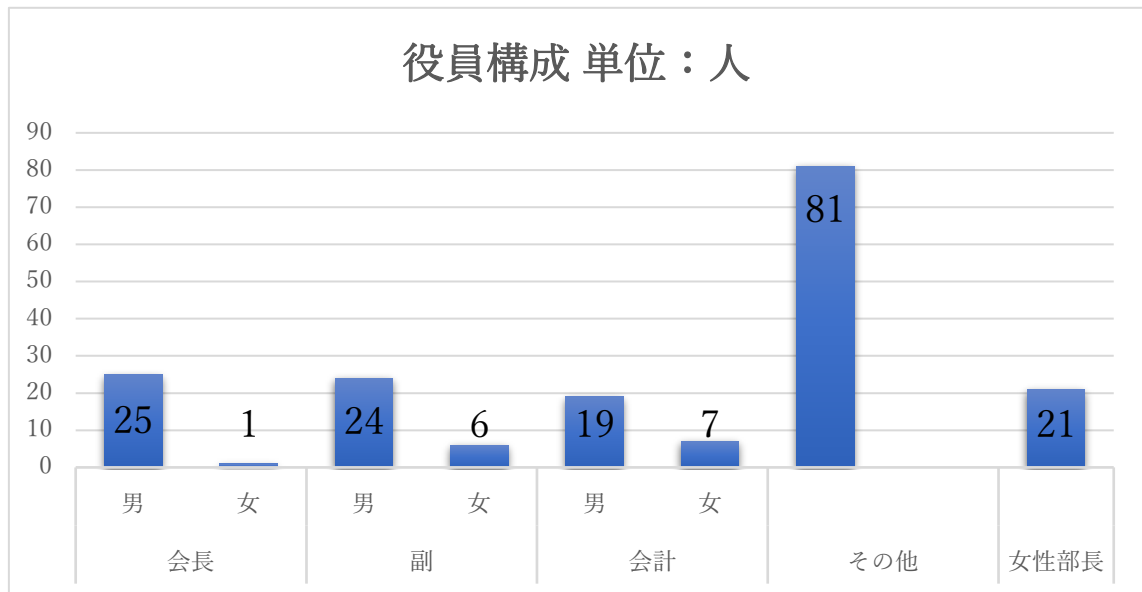


Q3-貴クラブの会員数及び年齢構成を教えてください

会員数 1,481人 回収された数値のみで記載

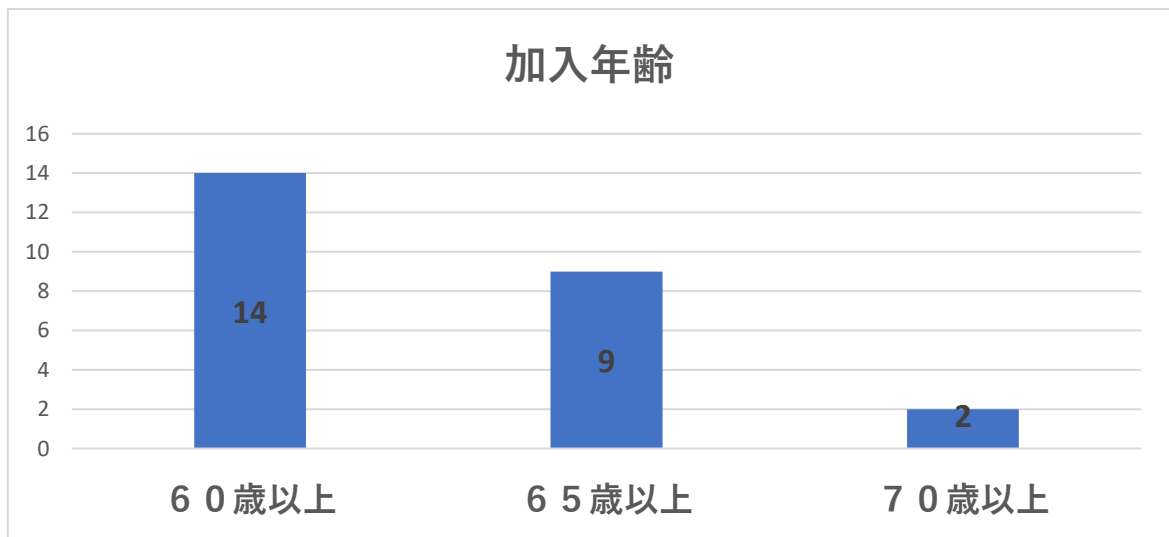


Q4-貴クラブの役員等構成を教えてください。

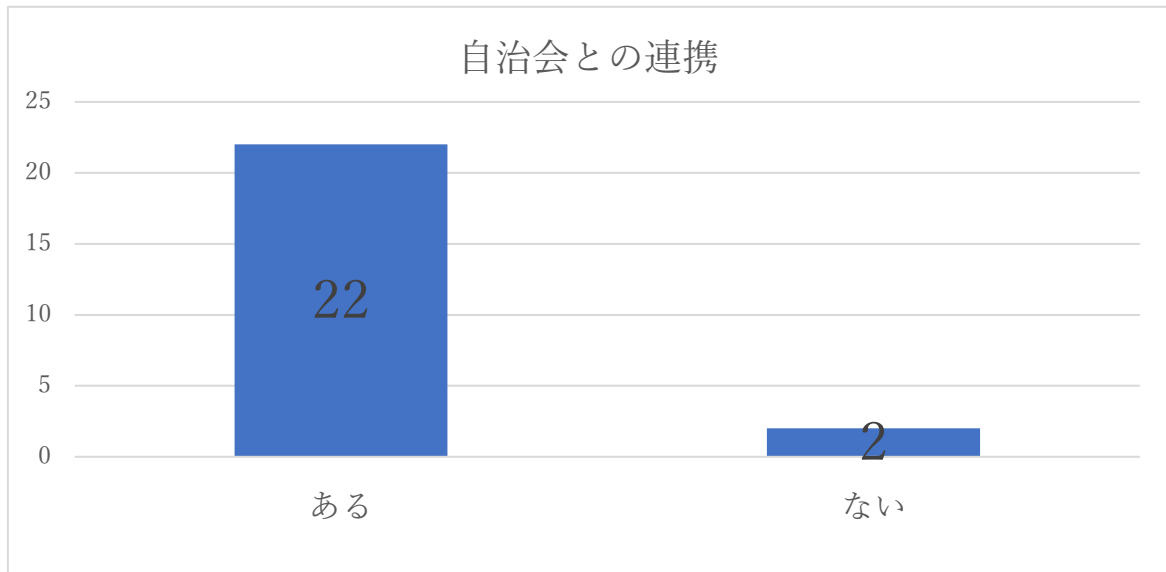


その他には、理事監事等の役員や、班長、連絡員などが含まれ、男女混合の数値となっています。

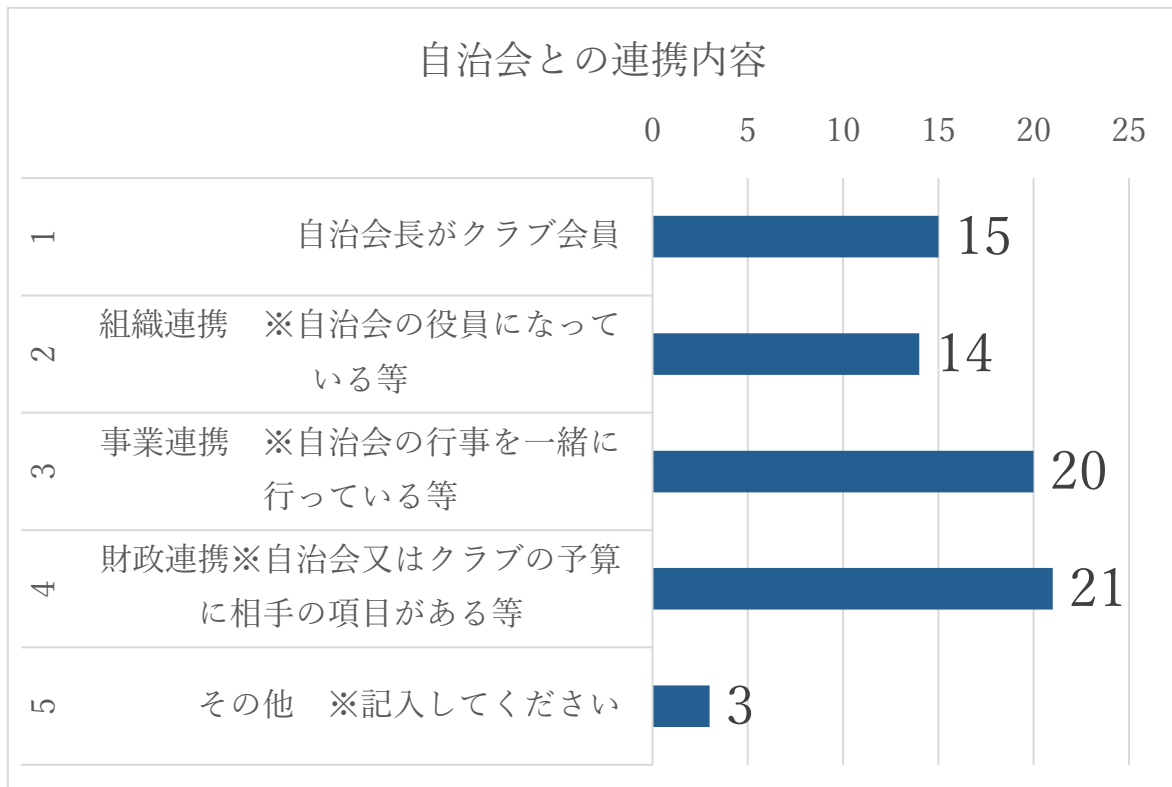
Q5-貴クラブの加入は何歳以上ですか？



Q6- 貴クラブと自治会との連携の有無を教えてください



Q7 「自治会との連携がある」と答えた方にお伺いします。連携の内容について当てはまる部分に○をつけてください(複数可)

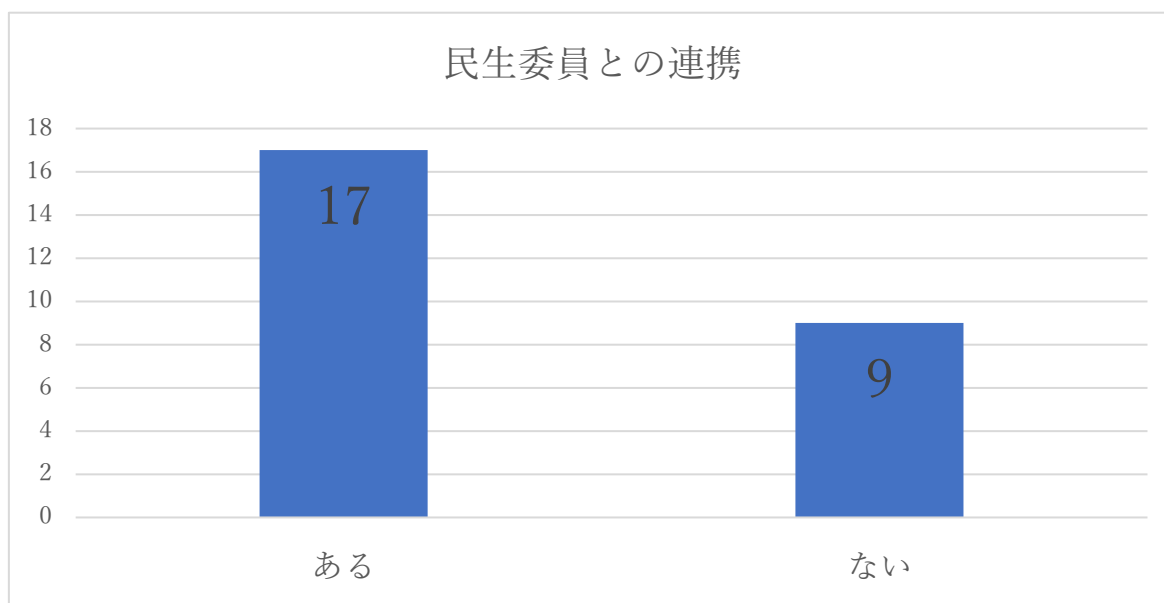


5「その他意見」

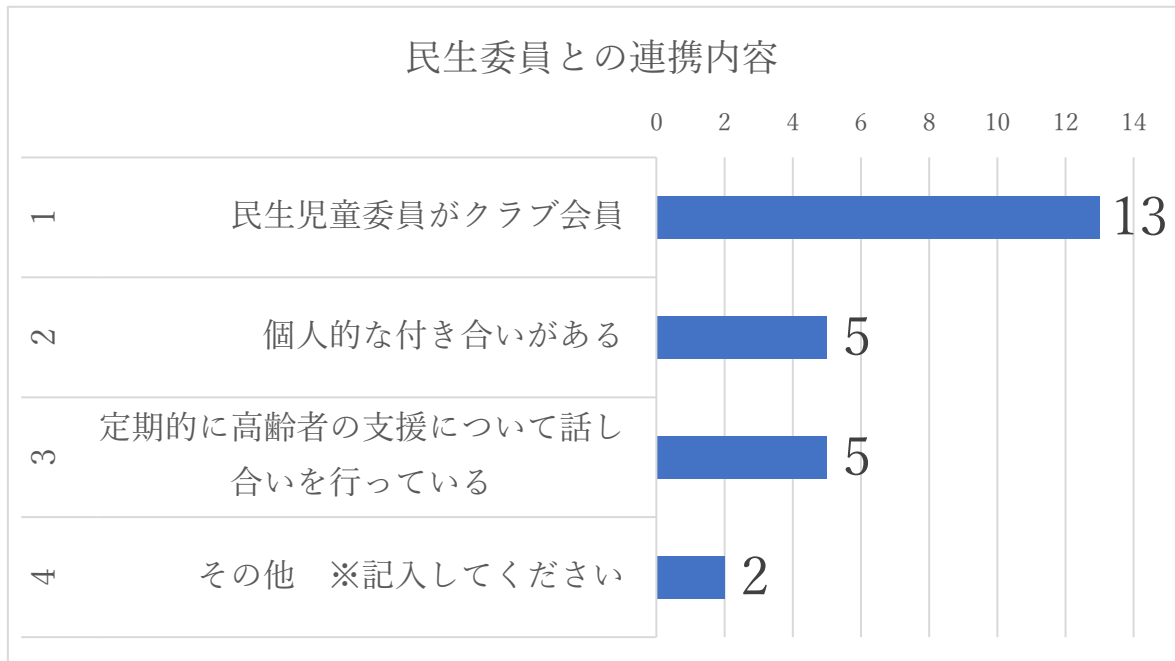
- 自治会より助成金の支援有
- 年度の自治会による会計監査
- コロナで何も連携できず、今後の事業について話し合う必要あり

多くの単位老人クラブが、何らかの形で自治会と連携しており、地域の重要なパートナーとして活動されているようです。またその他ご意見にもあるように、コロナ禍で自治会も様々な活動を制限され、ウィズコロナの今後の活動について母試合の必要性を感じているようです。

Q8-貴クラブと民生児童委員との連携の有無を教えてください



Q9「民生児童委員との連携がある」と答えた方にお伺いします。連携の内容について当てはまる部分に○をつけてください(複数可)



5「その他意見」

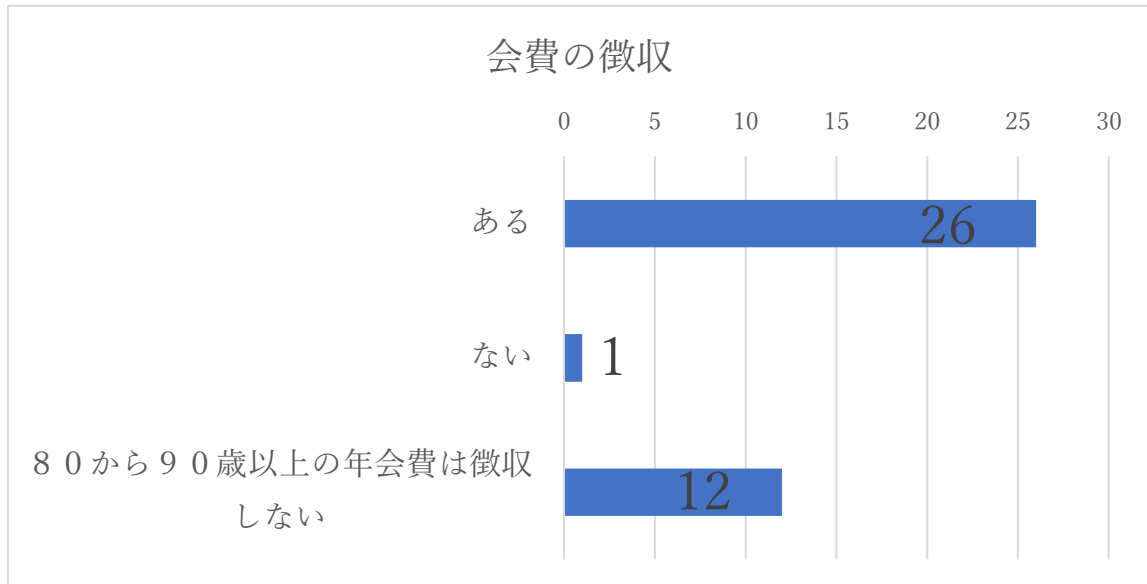
- 散歩の時に話す
- 必要な都度話す

多くの単位老人クラブが、何らかの形で民生委員（民生児童委員）と連携しており、こちらも重要なパートナーとして活動されているようです。またその他ご意見にもあるように、日頃からのつながりで、都度応じて情報共有を行い、生活に密着した様子が見えます。



地域の方や子ども達に関して相談に応じ、必要な援助や社会福祉の増進に努めています。一部には、児童に関することを専門的に担当する主任児童委員もいます。町内には、63名の民生児童委員と5名の主任児童委員が日出町民生児童委員協議会として活動しています。

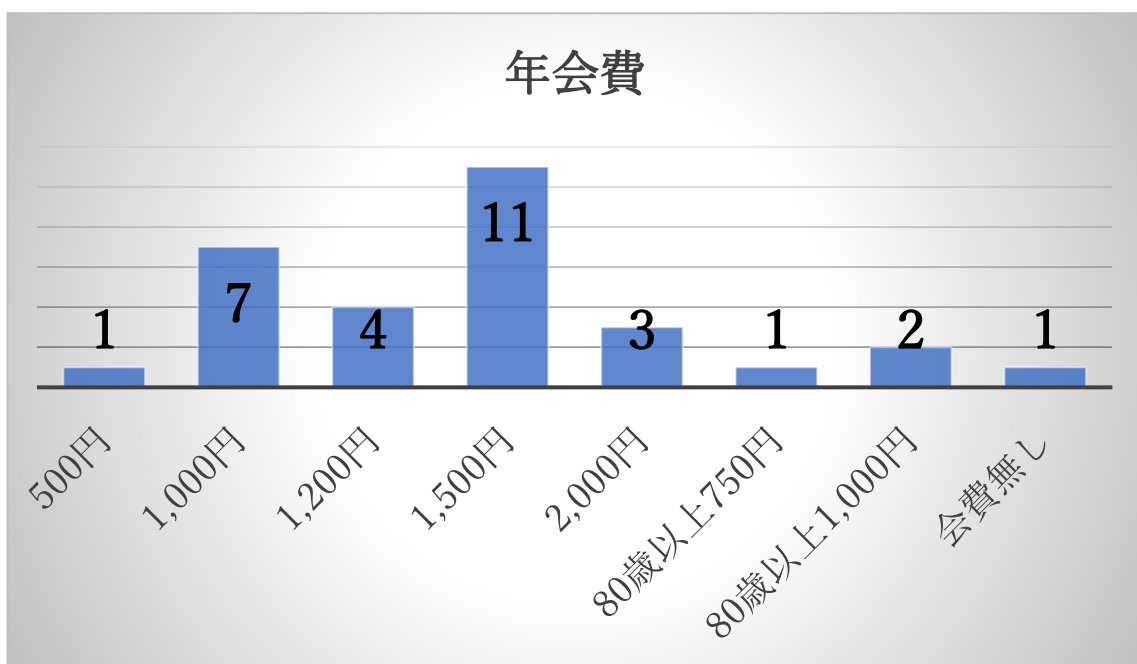
Q10-貴クラブの会員の年間会費額を教えてください



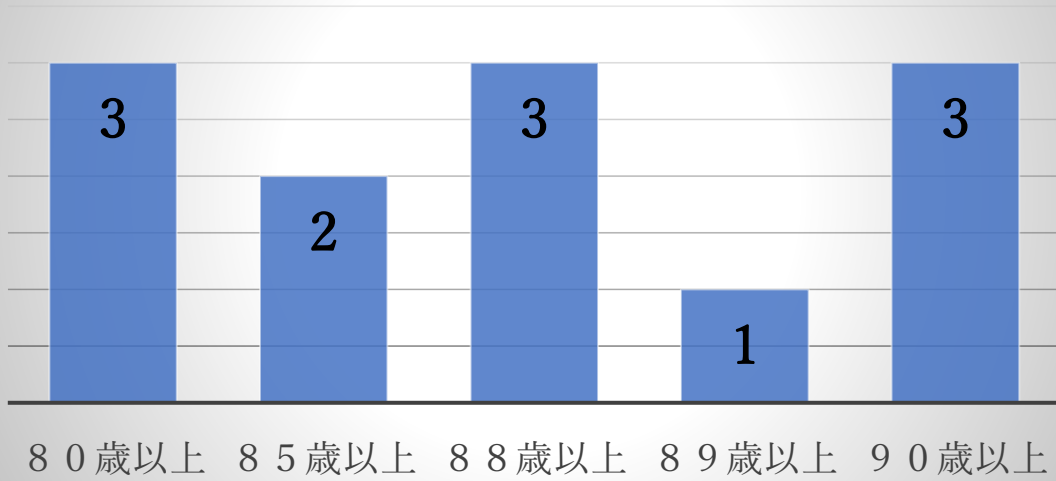
年会費の徴収を行っている単位老人クラブがほとんどでした。

年会費の金額については、以下の通りです。

また、80歳から90歳以上の方について年会費を徴収していないという12クラブのうち、徴収しない会費無料年齢の内訳を表示しています。

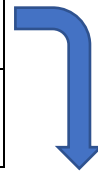


年会費〇歳以上無料

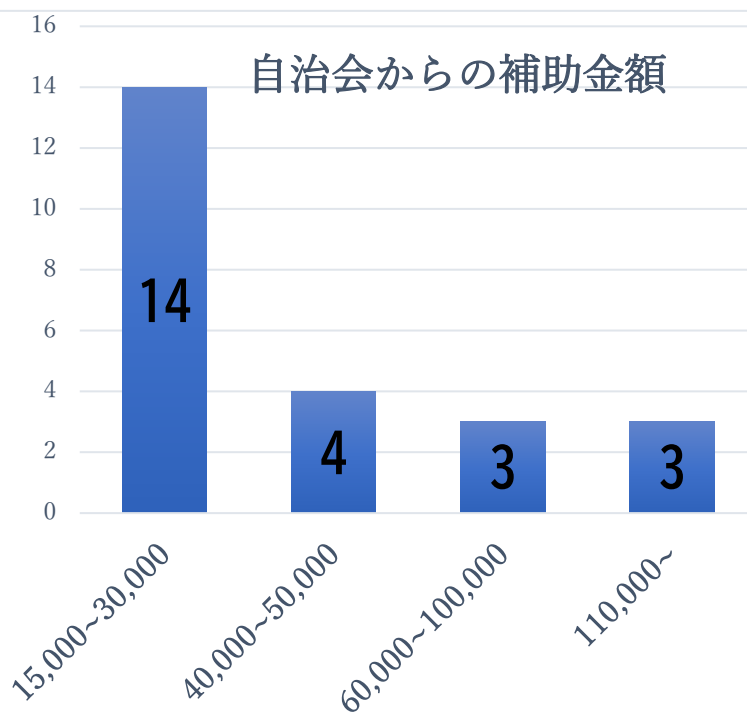


Q11-貴クラブへ自治会からの補助金額を教えてください

24	自治会からの補助金がある
1	自治会からの補助金はない



自治会からの補助金額



Q12-令和4年度について（町・町老連を除く）その他からの補助金・助成金の活用はありますか？

6	その他からの補助金等がある	20,000～265,000 円
16	その他からの補助金等はない	

※その他の補助金には、神社や公園の清掃、また高齢者の活動による県からの助成金等が含まれています。

Q13-町から貴クラブへの補助金についてご意見をお聞かせください

- ・補助金の算定基準(一律支給・各老人クラブの活動内容に応じて算定)について説明希望
- ・頂けるだけでありがたい
- ・補助金の増額をお願いしたい
- ・大変助かっています
- ・補助金基準決定の説明を求める。その他別途記入
- ・補助金の縛りはあると思うが、クラブの有用性や必要性を考えれば考慮してほしい
- ・現状で良い
- ・ありがたくいただいている
- ・老人クラブの補助金が少ない。使わない場合の返金は、常に何かあることは老人クラブを頼り、補助金は年々少なくなる。子ども手当はいつも気にして老人会は無視している。もう少し老人を大事にもらいたい
- ・明確な用途を規定したような書類もなく、毎回補助金の用途にクレームを出されるのは非常に困惑する
- ・使い方の規制を無くす
- ・資源ごみ回収の補助金をお願いしたい
- ・ありがたく有効に使っている
- ・補助金の返納処理が無いようにしてください
- ・R2はコロナ禍で事業ができず決算期になり返納を求められた。早い段階で指示してくれれば処理できたと思う
- ・コロナが収まり行事開催ができれば補助金についての話もできるが・・・

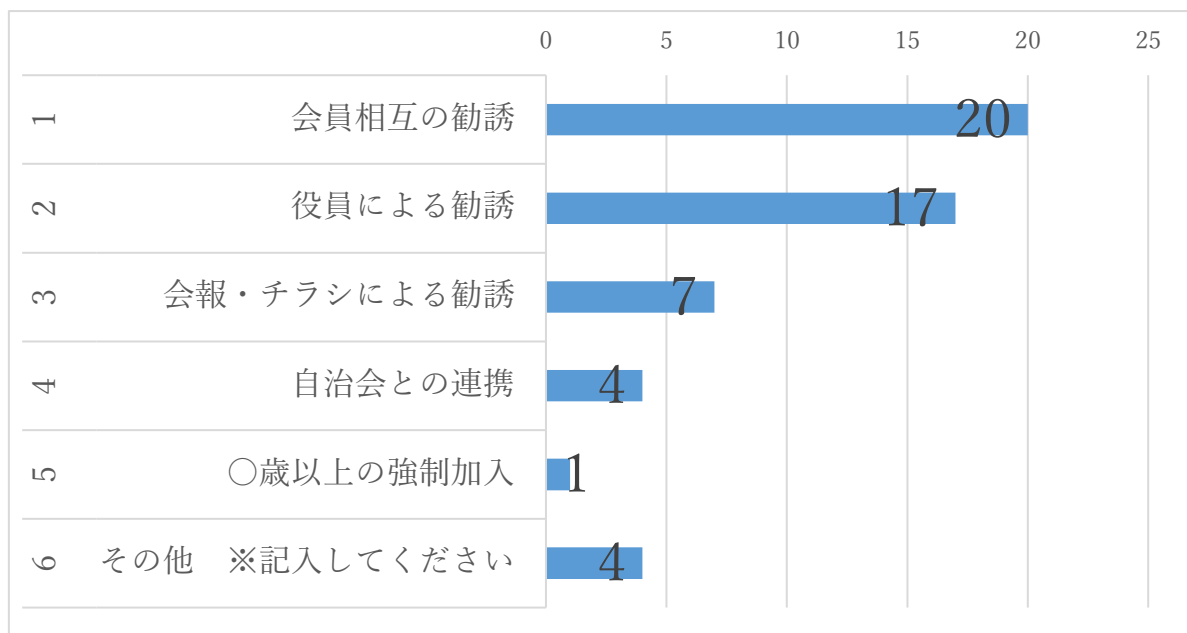
頂いたご意見をそのまま列記しました。補助金の使い道についてのご意見については自由度の緩みに期待する意見が多いようです。

Q14-貴クラブの令和4年度の予算額を教えてください

前年度繰り越し金	平均380,411円	→	57,735円~853,105円
収入予算	平均519,923円	→	81,000円~1,219,612円
支出予算	平均484,825円	→	60,000円~1,219,612円

※予算の計算方法（収入に繰越金を含め計上など）により違いが発生しています。

Q15-貴クラブの会員加入について行っている方法を教えてください



6 「その他意見」

- ・クラブ活動を通じ勧誘
- ・自治会長にお願いするも困難
- ・常に会員が少なくなるので苦んでいる→（困っている？）
- ・65歳以上になれば勧誘しているが、加入しない方が最近増え、魅力的なクラブにしないといけない

会員相互の勧誘が最も多く、次いで役員による勧誘となっています。口コミや知り合いを誘うなど、積極的に勧誘を行う方が多いようです。また、独自の会報などを作成し勧誘されているクラブもありました。

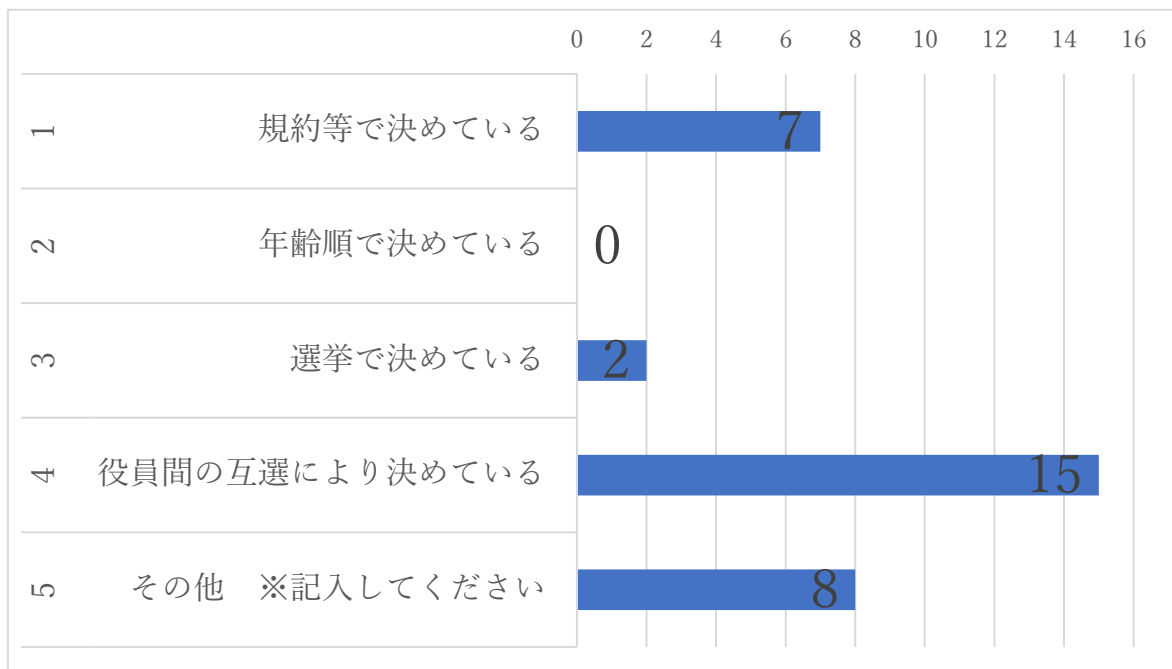
おしらせ



日出町老人クラブ連合会広報紙「ほがらか」をご活用ください。

日出町老人クラブ連合会では、活動啓発の一環として年に一度「ほがらか」を発行しています。過去に発行した広報誌はお渡しできますので、勧誘の際などに是非ご活用ください。事務局（日出町社会福祉協議会に置いています）

Q16-貴クラブの会長選考方法について教えてください

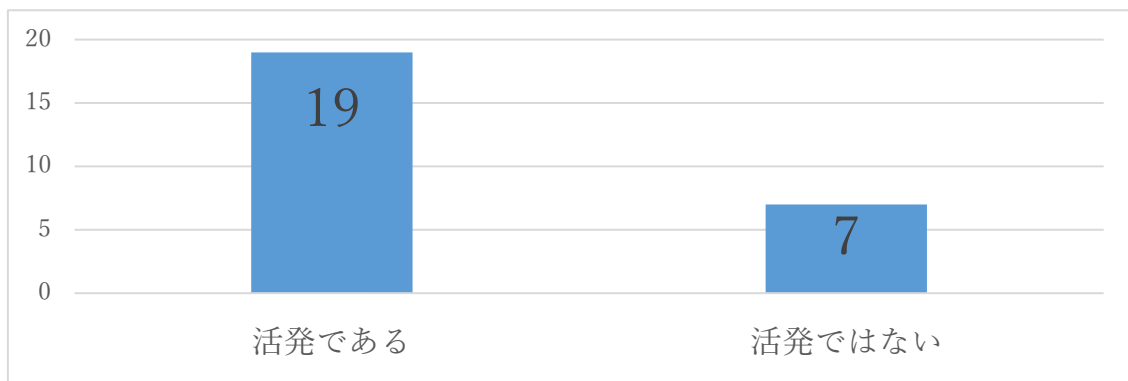


5 「その他意見」

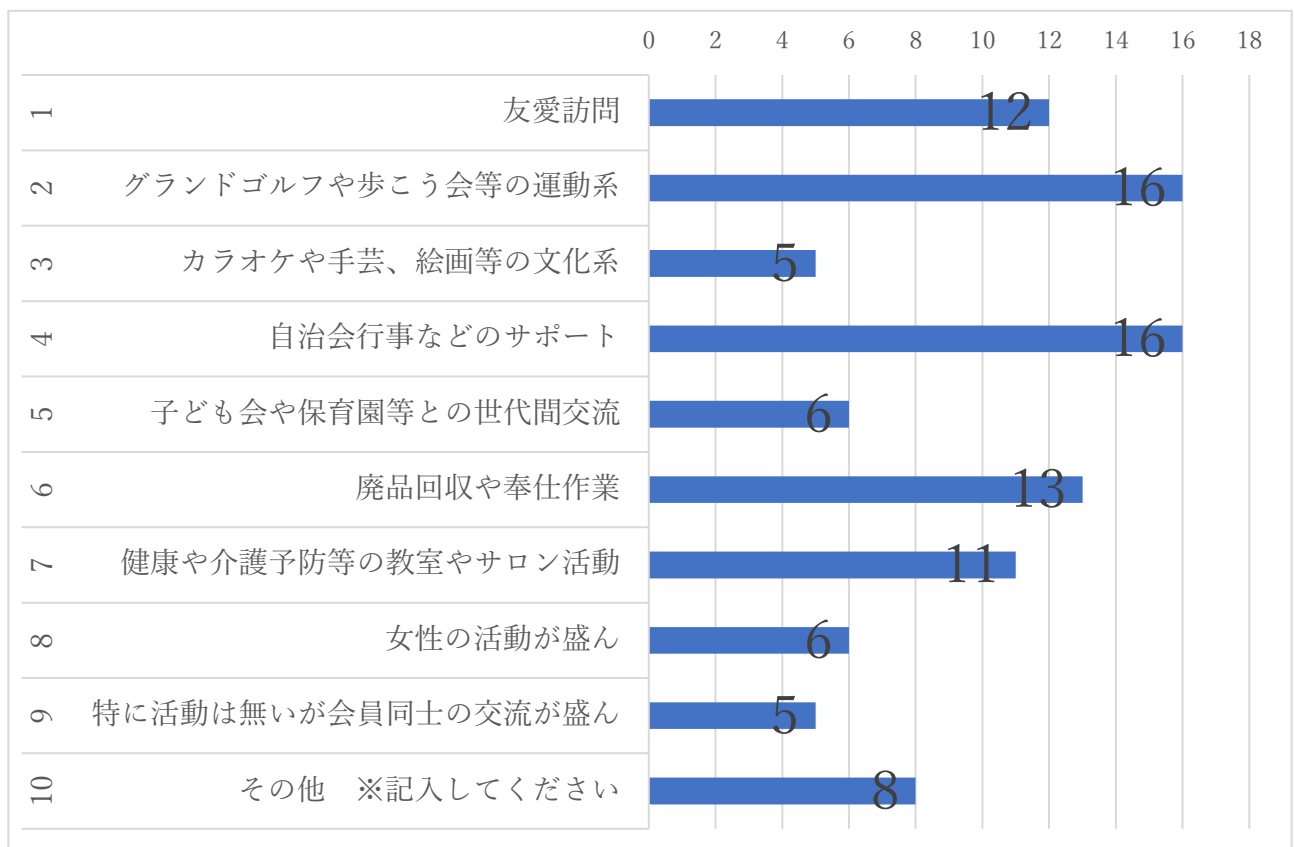
- ・前会長が次期会長に根回しし了承。苦勞している
- ・なり手がなく無理やり指名
- ・なり手がなく個人交渉
- ・役員選考委員会を開催し、主に会長候補を選考する
- ・後継者ない場合は現会長が継続せざるを得ない

- 事前に調整し総会で提案。役員のみ手がない
- 役員会での推薦により三役が依頼する
- 私は押し付けられ仕方なくやっているが、後任を探すのは苦労する。後任より存続が危ぶまれている

Q17-貴クラブの運営は活発かどうか教えてください



Q18「活発である」と答えた方にお伺いします。どのような活動が活発かを教えてください

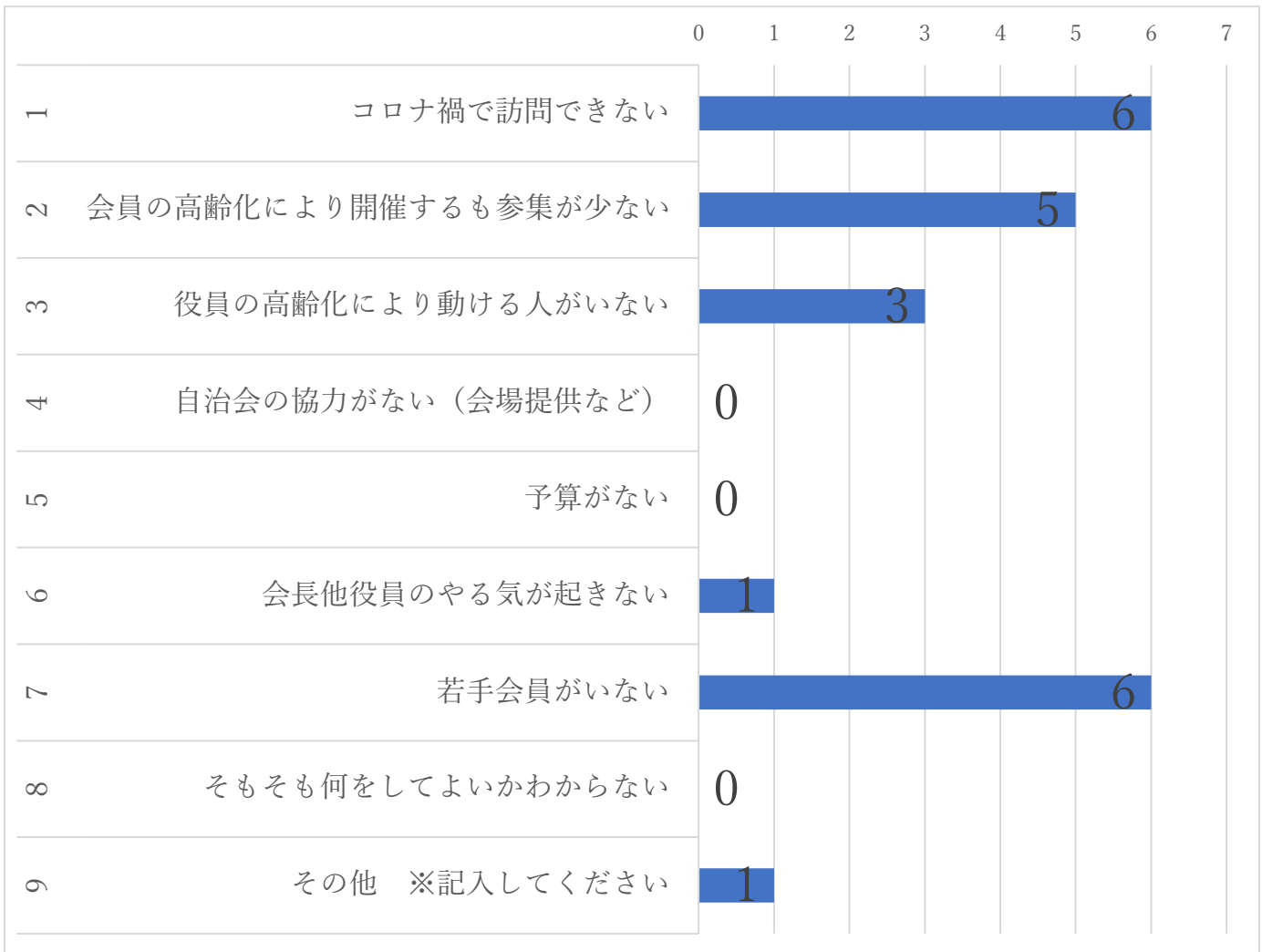


10「その他意見」

- 研修旅行に行けないが行けば親睦が深まる
- 名水付近の手入れ・花木の剪定
- コロナ禍で3年実施できていないが、日帰り旅行を兼ねた食事会やクリスマス会、健康増進研修、子ども会との餅つきなど
- いつも楽しい行事をしている
- コロナ禍前は毎月の定例会で30人ほど集い飲食カラオケ。子ども園との交流。
- 回天公園年6、お弘法様年12、恵比寿神社の清掃年12
- 神社清掃月1、菜の花植年1、交通安全指導月1、公園清掃年2
- コロナ禍で何もできない

コロナ禍で活動制限がありつつも、独自の活動で活動は活発であったクラブが多いようです。また、ウィズコロナの今後の活動について期待するご意見も上がっています。

Q19「活発ではない」と答えた方にお伺いします。活発ではない原因は何だと思えますか？



コロナ禍の制限で活動できないという方が最も多く、次いで若手会員がいないとなっています。若い方の未加入は全国的にも大きな課題となっています。

Q20-老人クラブ活動を活発化するために必要なことは何だと思えますか？

ヒトについて

- ・若手会員の加入
- ・会員の参加が多ければ行事も活発になる
- ・会員になれば役員があるので参加が少ないと思う
- ・会員の高齢化
- ・元気な若い会員の加入が第一。今後の人生をいかに過ごすか、多いに討議し高齢社会としてリードしてほしい

役員等について

- ・役員期間を短く
- ・各役員が其々の職務に基づきリーダーシップを発揮することが求められている
- ・会長特に正直心覚も大きいのが、実施した達成感は何とも言い難い
- ・入会するが役員にならないというので役員の話を言いにくい

お金について

- ・廃品回収を毎月行っているが量が少なくなり収入が僅か。以前は町からの補助金があったが、現在は収入減
- ・老朽に対する補助金を増額してもらえないと事業ができなくなっている
- ・会員からの収入も会費以外は無く、会員減少により運営困難となっている
- ・楽しめることが第一。制限は可能な限り無くす（活動内容・助成金の使い道・報告文書の簡素化）

活動内容について

- 若い老人、定年が近い人、定年になったばかりの人、などお誘いし、グループを作り、例えば将棋・碁・カラオケ・川柳・俳句・野菜作り・何か楽しむグループがあればと思いますがなかなかうまくいかない
- コロナ禍で行事ができない
- 研修旅行等の計画
- グランドゴルフ等に参加出席を募る
- 事業計画通りの実施ができることが重要
- 会員が行事にできるだけ参加してもらいたい
- 会員同士で楽しくできるプランを立てる
- 会員でいつも皆で気にかけている
- 会員で声掛けをしている
- 毎日の挨拶を心がけている
- 目配り気配り心配りに取り組んでいる
- 会員相互の理解と思いやり。会員の何気ない思いやりや挨拶が心にぬくもりを持つ大事なことだと思います

加入等について

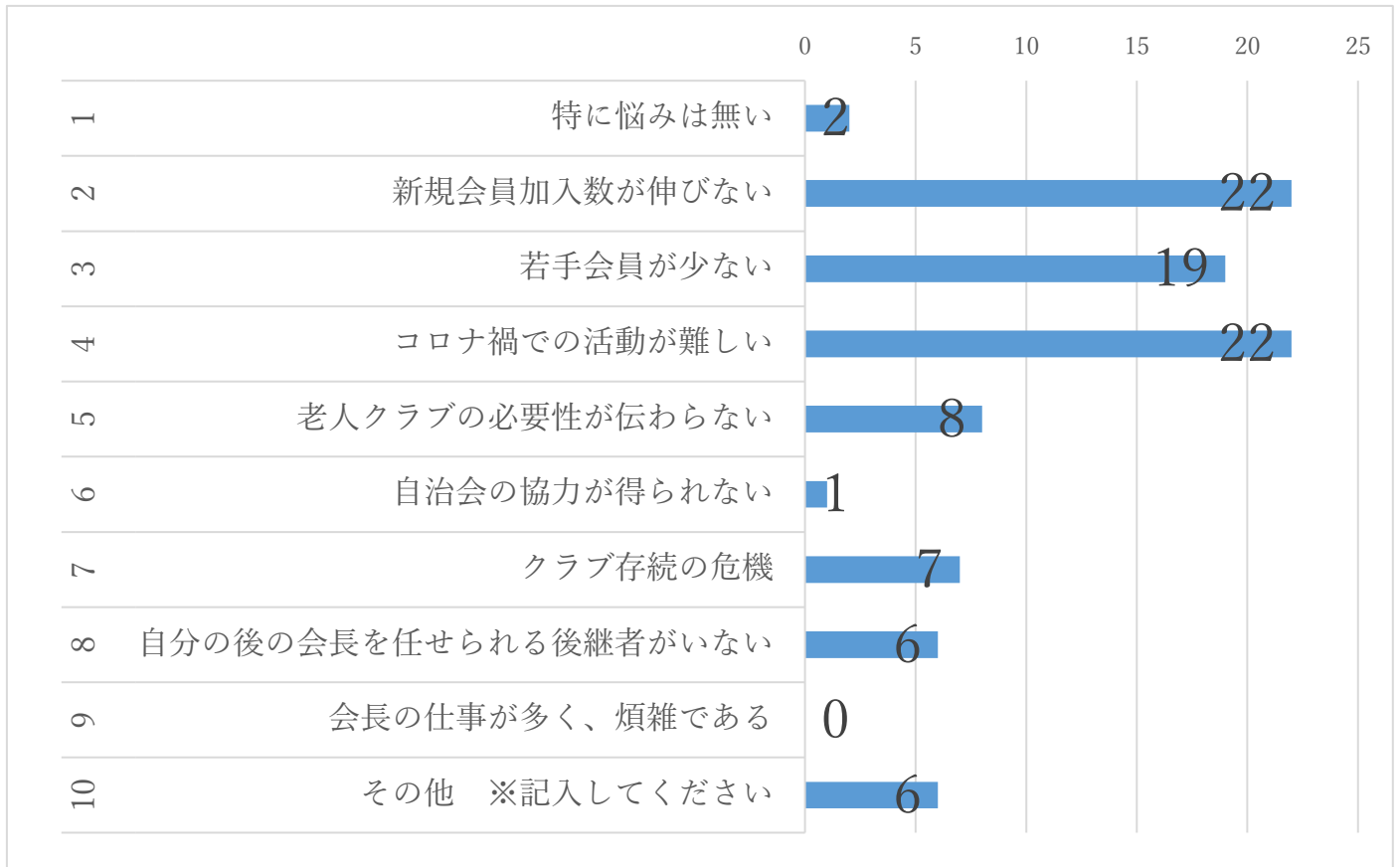
- 新規加入がないのは、老人クラブという名前と活動が「年よりくさい」と思われている人が多く、「是非参加したい」と思われるような斬新なクラブにしていかなければ。斬新なことは思いつかないが
- 60歳から加入可であるが、若い人が入会してくれない。声は掛けているが断られる

その他ご意見

- 老人クラブの行動や企画力が結果的にどうであるかの情報がない。• 農業従事者が多く行動制限があり特別な事でもない限り多くの意見と集約ができにくい
- クラブ活動の目的はわかるが、ニーズに合った活動を営んでいるかが難しい
- 町報に老人クラブの現状を載せる

Q21-貴クラブの運営や会長職としてどのような悩みがありますか？

当てはまる部分に○をつけてください(複数可)



10「その他意見」

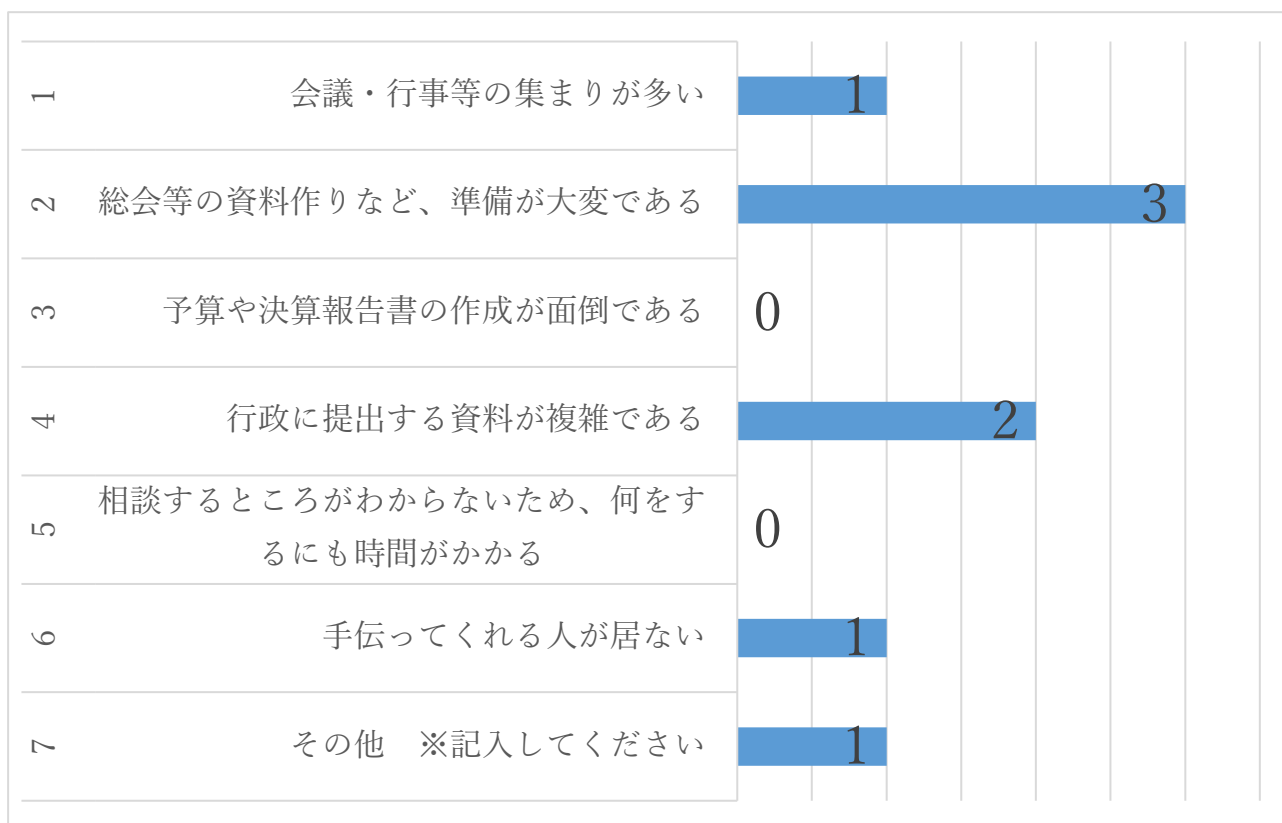
- ・住民が少ない上に若い人が加入しない60-70代
- ・新規会員獲得ができないのは、老人クラブの必要性が伝わらないのが大きな課題の一つ。会長の大きな任務の一つであり、自身で深く反省
- ・区のリーダー区長に入会を説得するが了解してもらえず残念
- ・企画は会長本人の企画であり、個人で考え行動しなくてはならず、ノウハウがなく非常にやりにくい
- ・役員間の世代交代が進まないため新しい役員ができない
- ・加入できる年齢になっても加入しない

「新規加入が伸びない」「コロナ禍で活動ができない」が最も多く、次いで「若手会員が少ない」となっています。

Q22「会長の仕事が多く、煩雑である」と答えた方に伺います。そう

思う内容について、当てはまる部分に○をつけてください(複数可)

※Q 2 1-9に回答のあった方は0でしたが、本問いに回答をいただきましたので掲載します。



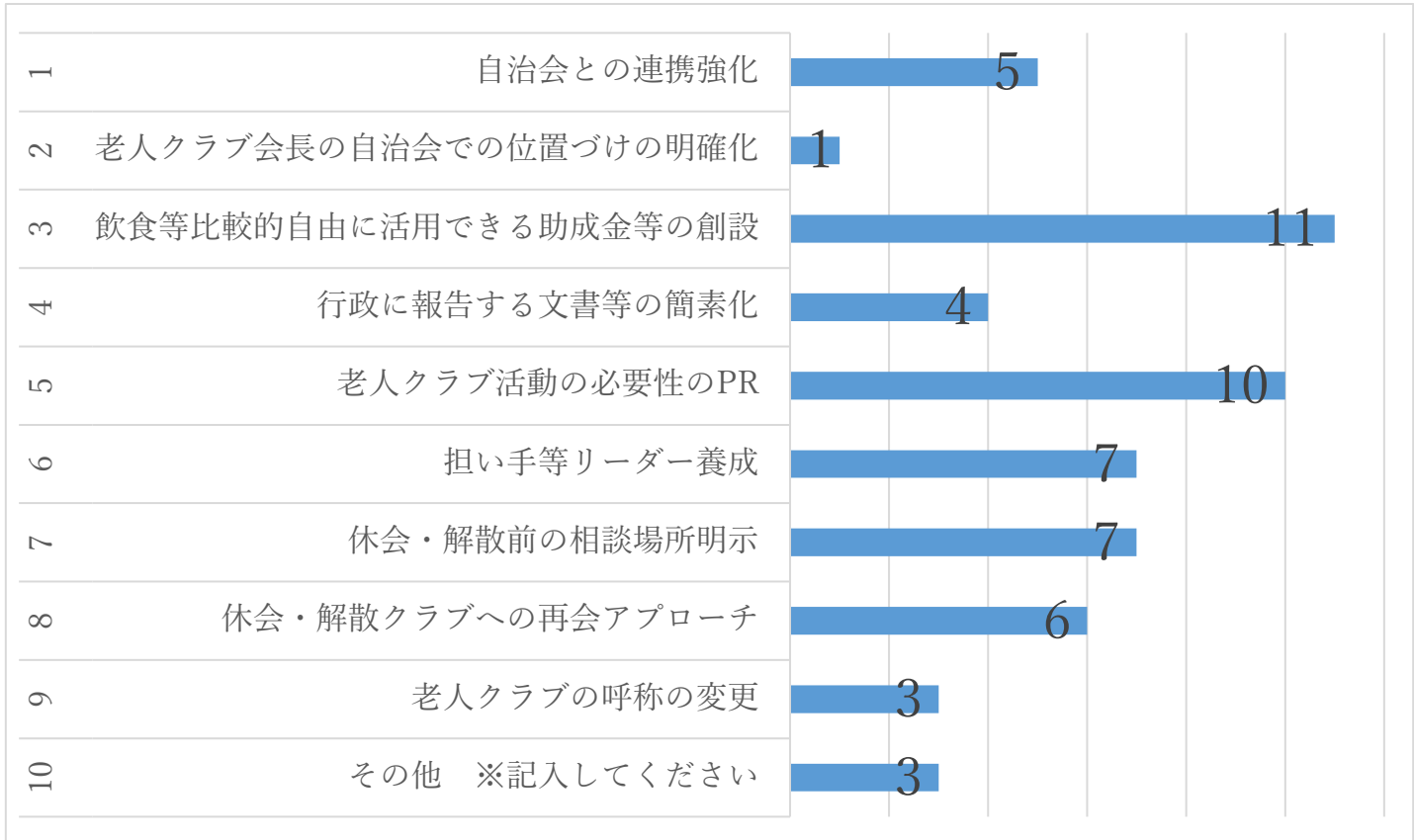
7「その他意見」

- 無理矢理に会長や会計になった方は、遠慮なく地区老連や町老連、社協事務局に相談しましょう

「資料作りや準備が大変である」と答えた方が最も多い結果となっています。資料の印刷等は、事務局の社会福祉協議会の印刷機を利用する方も多いです。ご存知ない方は是非ご活用ください。

Q23-町老連・社協・行政に望むものは何ですか？当てはまる部分に

○をつけてください(複数可)



10「その他意見」

- 解散や休止の情報が入っていれば、関係者と相談し最悪の事態を未然に防ぐことはできないか
- 各全国組織が必要。任意団体とは言え行政には支援してほしい。社協には感謝
- 社協はよくしてくれる

「比較的自由に使える助成金の創設」が最も多く、次いで「老人クラブの必要性のPR」となっています。また、担い手の育成や、相談場所の明示など、今後共に検討していきたいご意見をたくさん頂戴しました。

Q24-貴クラブや町老連の活性化についてご自由なご意見をお聞かせ

ください

ヒト・役員等について

- 高齢者ばかりで最近故障者（病気・骨折・持病等）多く、Gゴルフ等人数が揃わなかった。大変です
- 会長や役員を受け入れてくれない。パソコンを使えないという理由。手書きでも可能だが作業が大変
- 会員増により役員の選定やパソコン可能対象者が増える
- 若い人が加入すればイベントも多様化し事業活性化につながる
- 町老連より加入していない人に対して必要性をPRしてはどうか
- 会長希望者がおらず前会長が長年やっていた。今年から引き受けたが後継者が心配
- 単老の維持の為後継者育成に取り組んでいただきたい

お金について

- 活性化するにはいろいろな行事を行う事であり、参加してよかったと思われるためにはある程度の予算的裏付けが必要に思う。町及び町老連からの補助金は増額を願っている。
- 老人会会費の加入については、自治会の敬老会等において推奨願いたい。
- 会員が減少する中名誉会員（89歳以上）は毎年増加し今後益々実務で活動する会員は減ってくる。新規加入が少ない。
- 老人クラブが無くても他の教室で財政的支援を受けている
- 地域の60歳以上の全員加入望ましい。ただし会費は自治会又は町補助金として拠出

活動内容について

- 老クに加入してよかったと思える幅広い人間味あふれた活動が大切。人は一人で生きていけない。最小限の仲間作り、元気な時に世話をし、そしてお世話になろう
- コロナ終息後計画通り実施すれば活性化につながる
- コロナ禍で活動が制限される中、少しでも行事などできるようになればと思います

- 参加者増にするため、人員を多くし種目も多くする。

その他

- 考えたがアイデアが浮かばない
- コロナ禍終息願う。計画を進めたい
- 単老の運営状況を把握する部署を作っていたきたい
- クラブ活動の魅力がわからない
- 団塊世代の価値観の相違
- 町老連はよくやっていると思う。行事が多くなると役員の仕事が増える
- 町は議会などで老人クラブに気配りをお願いしたい。町老連はいつも活気
- ボランティアな集まりであり参加者を毎回集めることが困難。1つには、目的性がない、達成感がないためただ継続しているという事で会があらうがなくなろうが何の変化も起こらない。もっと目的性を持った会にならないか。社会性を持った行動を継続的にできないか。老クは自由であるため帰属意識が低い
- これまで老人会には加入しただけで活性化の手伝いをしていなかった。何をどのようにするかわからない。新規会長にはベテランが指導するなど助言等していただけるとありがたい



老人クラブ活動活性化の為 のアンケート調査 報告 — 一般会員分 —

調査対象：日出町老人クラブ連合会加入単位老人クラブ 一般会員

実 施：令和4年9月配布～11月最終回収

回 収 率：75% (48名/32単老*2=64名)

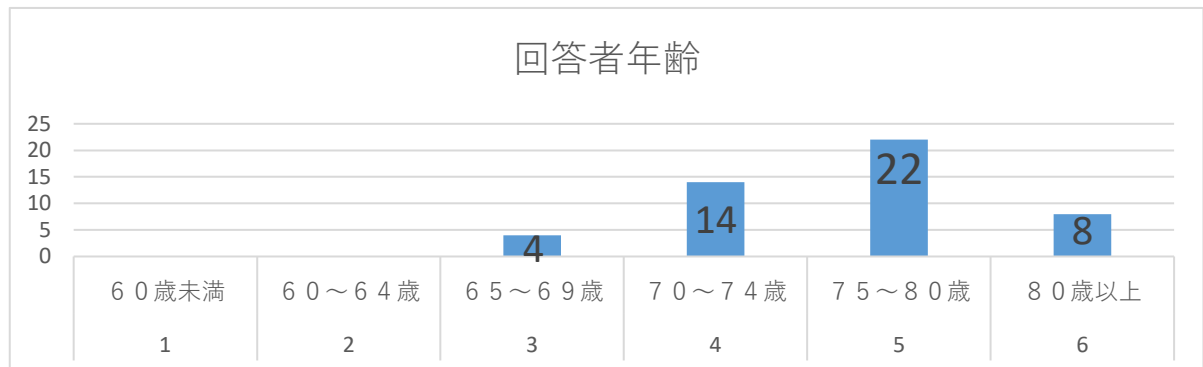
調査実施：日出町老人クラブ連合会

日出町

日出町社会福祉協議会（日出町老人クラブ連合会事務局）

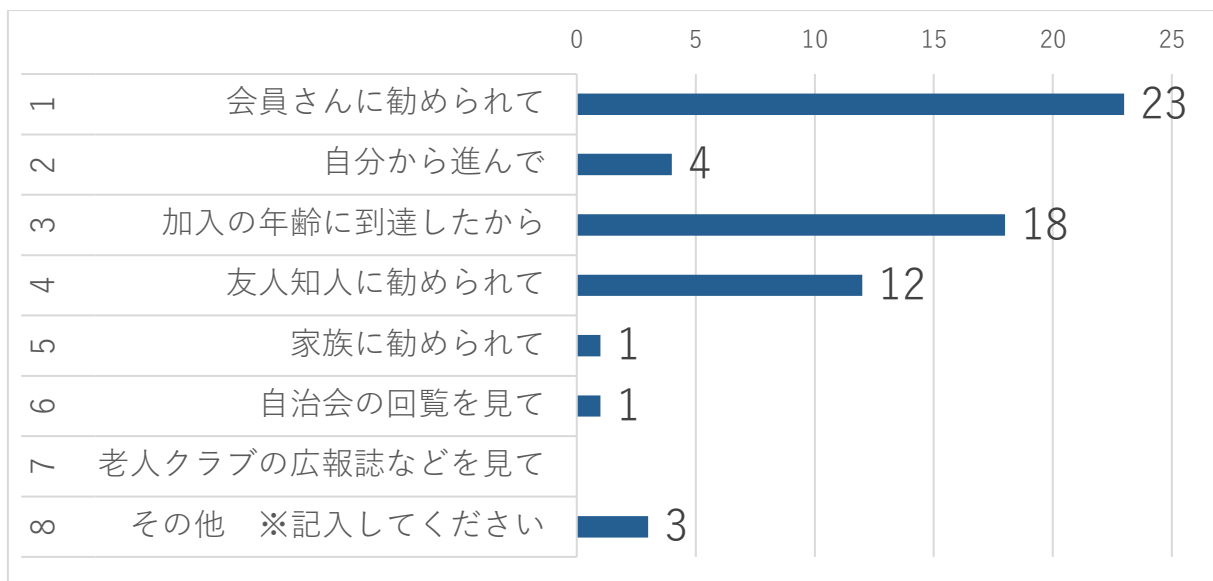
作 成：令和5年3月 日出町社会福祉協議会

Q1-あなたの年齢を教えてください



今回48名の方にご回答いただき、75-80歳の方の回答を多くいただきました。

Q2-老人クラブに加入したきっかけを教えてください

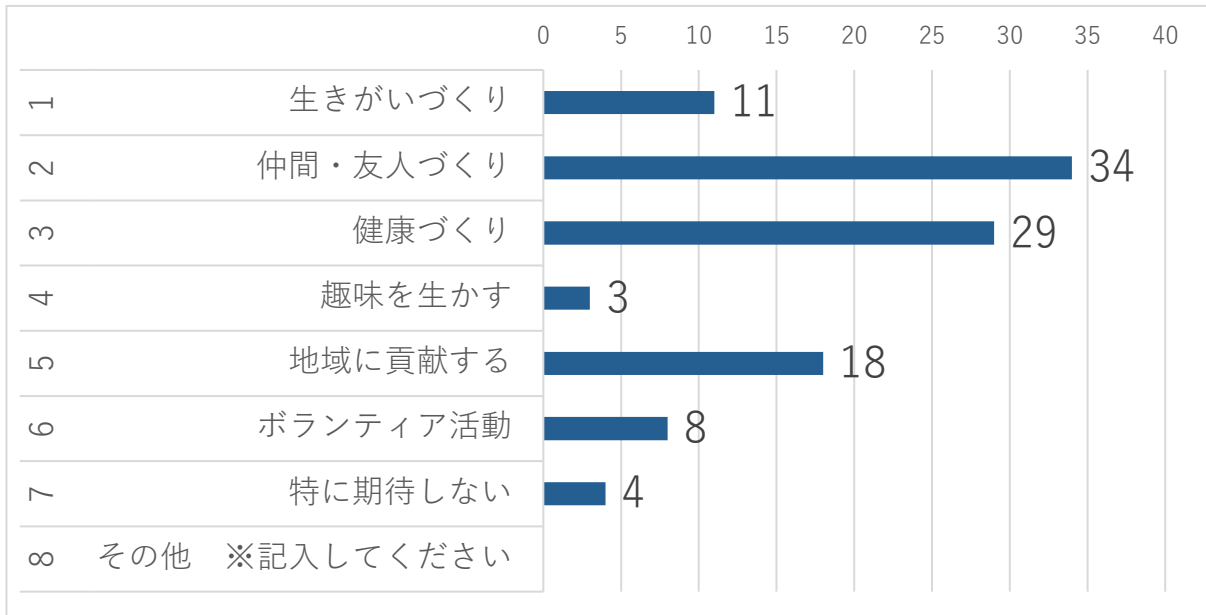


8「その他意見」

- ・会長さんに勧められて
- ・地区の加入年齢は65歳でしたが、仕事を持っているため加入が遅くなりました
- ・グランドゴルフを老人クラブがやっていたため参加した

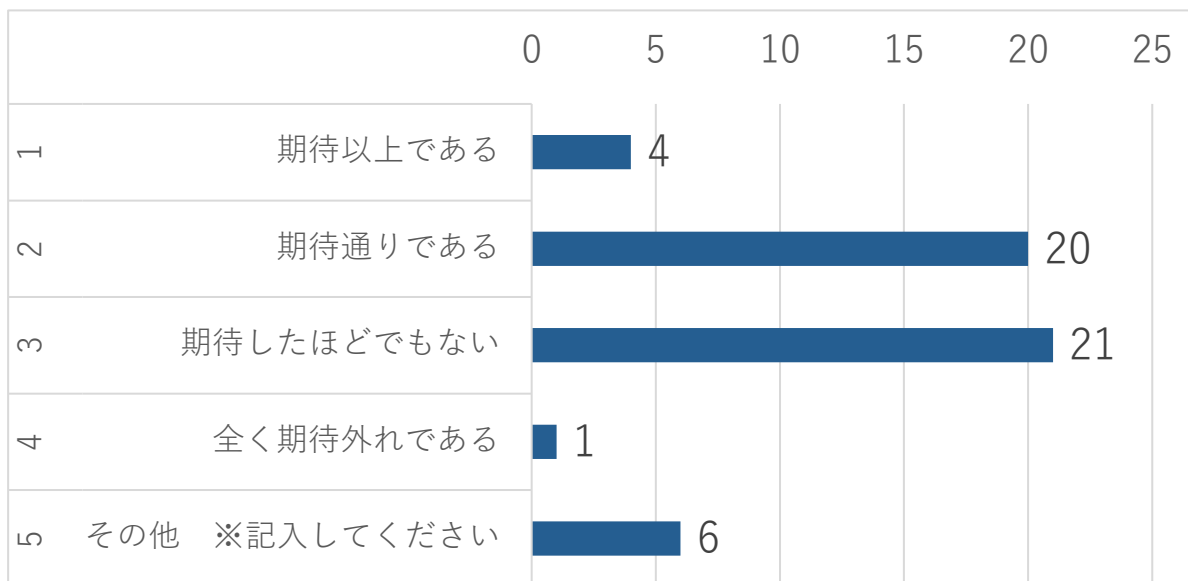
「会員さんに勧められて」が一番多く、続いて「加入の年齢に達したから」「友人知人に勧められて」となっています。

Q3-あなたは、老人クラブにどのようなことを期待していますか



老人クラブに期待することとして、「仲間・友人づくり」が最も多く、次いで「健康づくり」「地域に貢献する」となっています。
定年後に加入し地域での新たな交友関係を築くなかで、自身の健康づくりや、地域への貢献に期待している方が多いようです。

Q4-あなたは、老人クラブに加入して期待どおりでしたか？

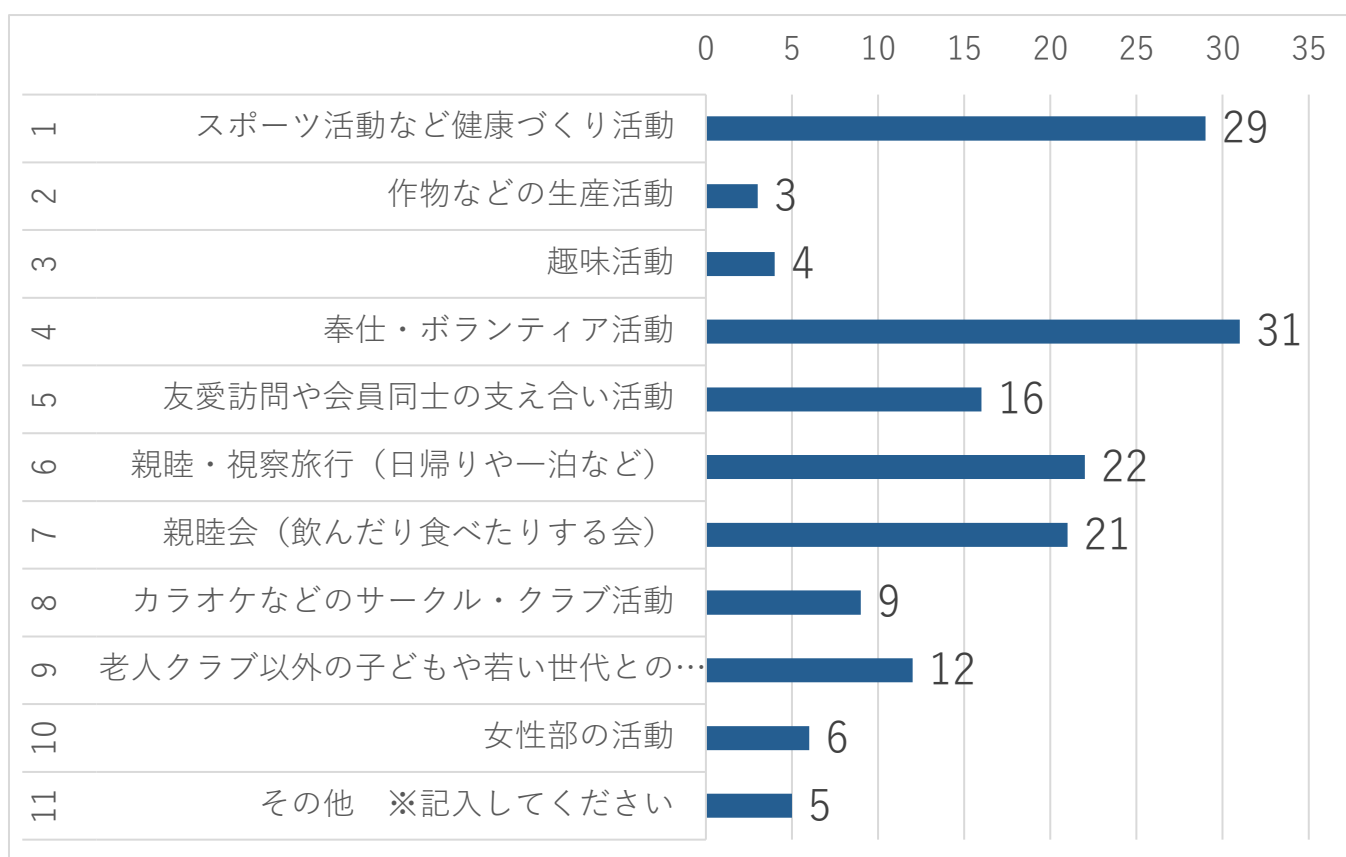


5「その他意見」

- 地域の人と関りが持て、健康面・精神的にも、日々の生活にも張り合いが持て、認知症の予防になる
- 老人クラブ参加の方々の年齢が偏り、動ける方々のバランスが少し崩れている
- ここ2、3年はコロナの為活動できず少し寂しく思っています
- 特に何かを期待していたわけではないので期待以上でも期待外れでもない
- 入会時、老人クラブの活動内容がわからないまま誘われるまま入会した。したがって「期待」の問いには回答できないが、まあ和やかな会だと感じている
- 人数が減り、行事も少なくなり、活動ができない

老人クラブ加入にあたり期待通り以上と答えた方が半数以上を占め、生きがいや健康づくりに参加できる老人クラブに対する期待度の高さが表れています。しかしながら、コロナ禍での活動制限などにより老人クラブの活動自粛を余儀なくされ、寂しく思う方もいらっしゃいます。また、年齢の偏りについて危惧される意見もいただいています。

Q5-あなたのクラブではどのような活動を行っていますか？



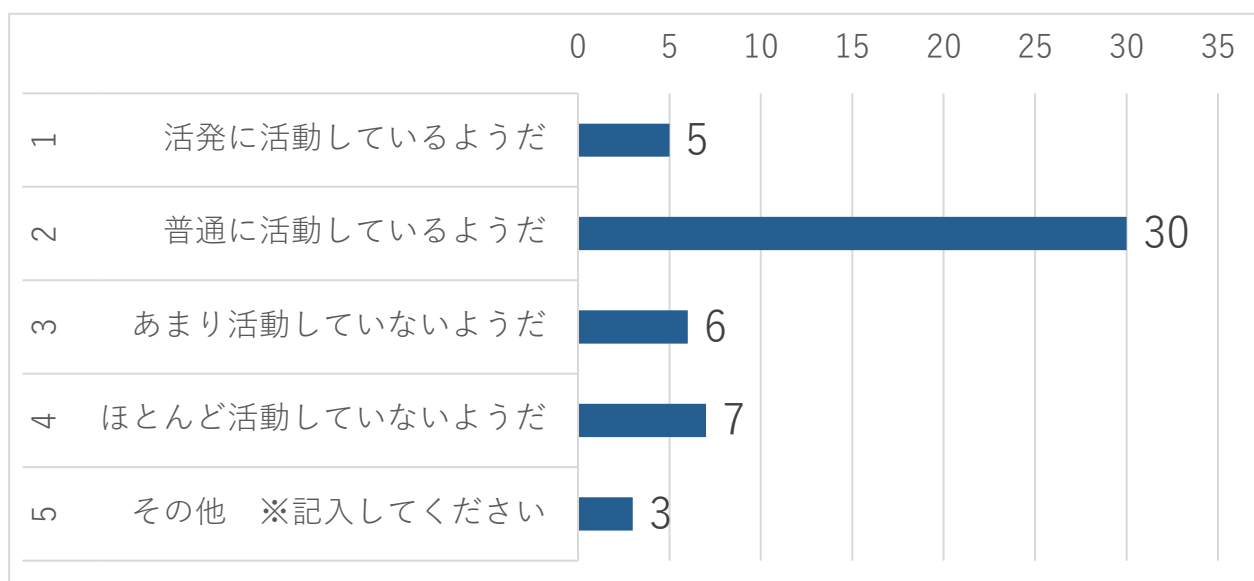
11 「その他意見」

- 趣味の花づくりの軽い土いじりのような活動
- ハッピー教室
- 回答はしたが3年以前の話。最近はコロナで活動休止状態にある(2)
- コロナ禍後は花見・忘年会・旅行はできていない

「奉仕・ボランティア活動」に次いで、「スポーツ活動などの健康づくり活動」となっています。ウィズコロナで活動は再開するも、親睦旅行や親睦会などはまだ控えているクラブさんが多い状態にあります。

「女性部の活動」が活発なクラブもあり、全県的に見ても、会員の半数以上を占める女性会員の活動の活発化が期待されていますが、町老連も同様です。

Q6-あなたのクラブの活動状況はいかがですか？

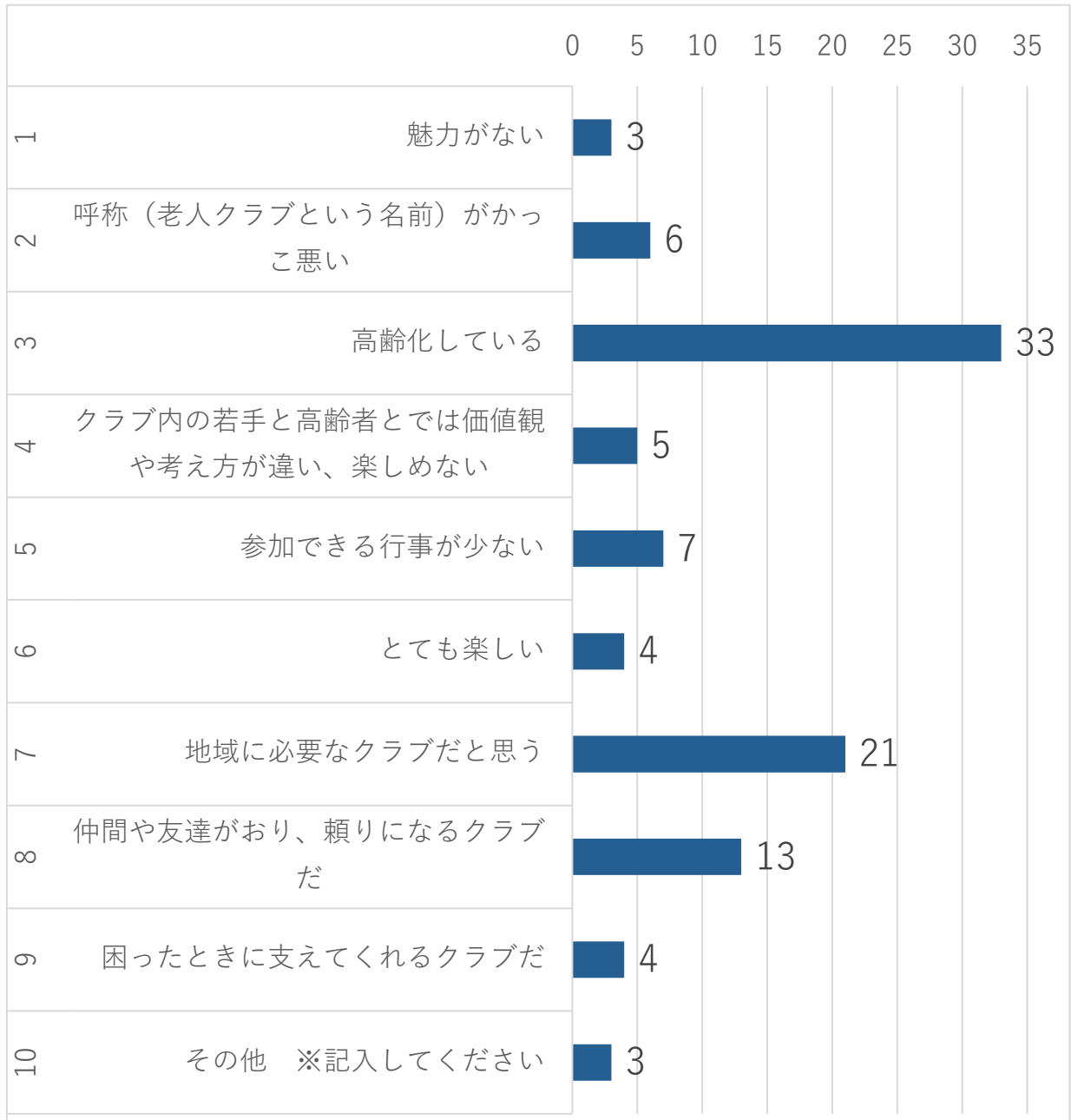


5 「その他意見」

- コロナ以降はほとんど活動無し。どこの地区も同様ではないでしょうか？
- コロナの為自粛中(2)

その他意見にもある様に、コロナ禍で自粛を余儀なくされる中だからこそ、会員の見守りに繋がる友愛訪問などを積極的に行うクラブや、感染対策の工夫を行い活動するクラブもみられました。

Q7-現在のクラブをどのように思いますか？



10「その他意見」

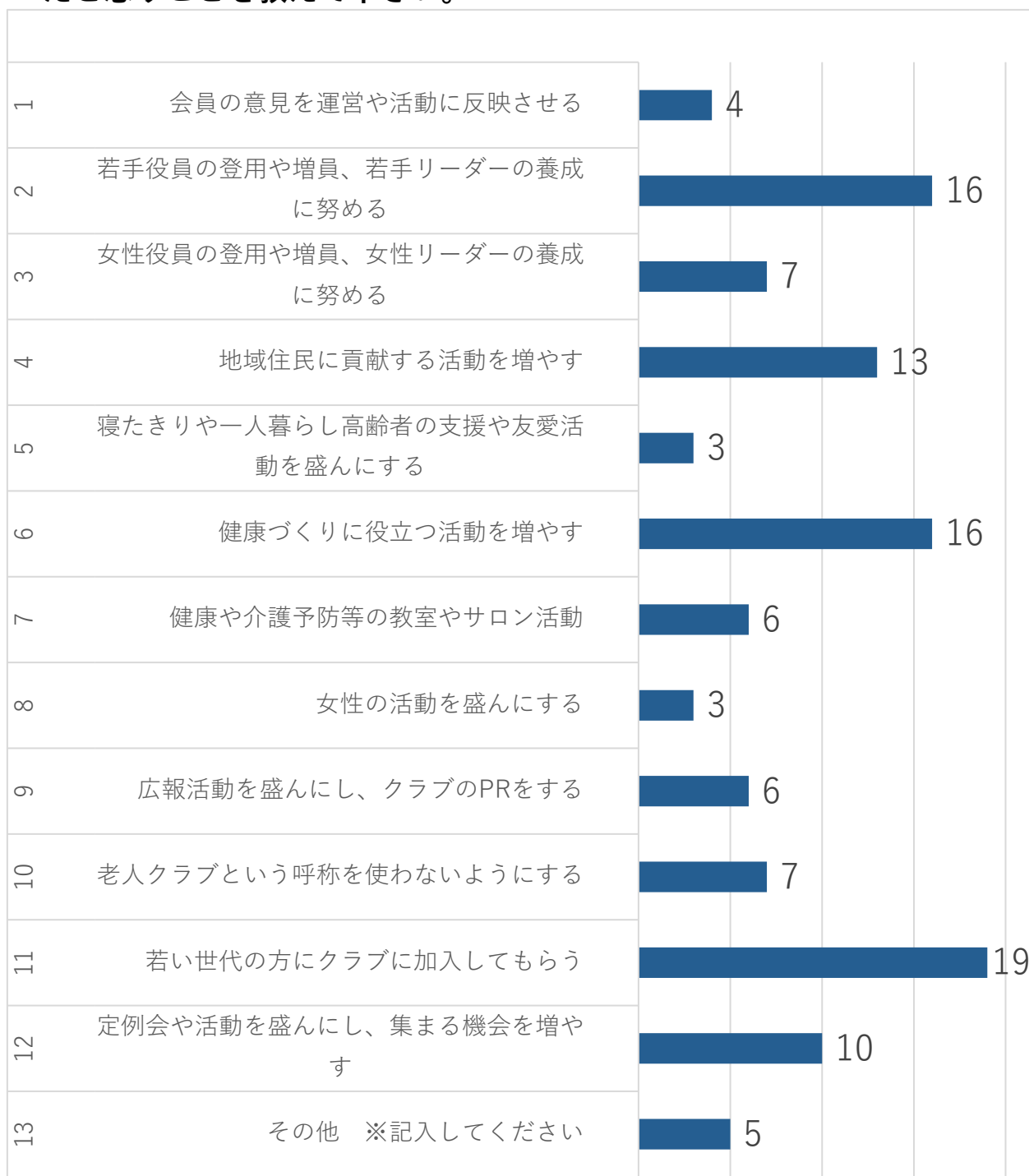
- 地区会員が会えるのは地区の行事だけだ。他地区の交流行事はあまり関心がない
- 老人クラブの名前自体がどうかと思う。分類としては老人だろうけども、

最初から「老人」と言い出すのもどうかと思う。

・呼称例・・・地区交流クラブ、いき生きクラブ、〇〇互助クラブ

「高齢化している」がもっとも多く、続いて「地域に必要なクラブだと思う」「仲間や友達がおり、頼りになるクラブだ」となっています。また、その他意見の中にもありましたが、老人クラブの呼称について陰的イメージを持たれる方も次いで多いようです。

Q8-現在解散や休止するクラブが増えており、この現状を改善することが急務となっています。改善や、活性化の方法として必要だと思うことを教えてください。

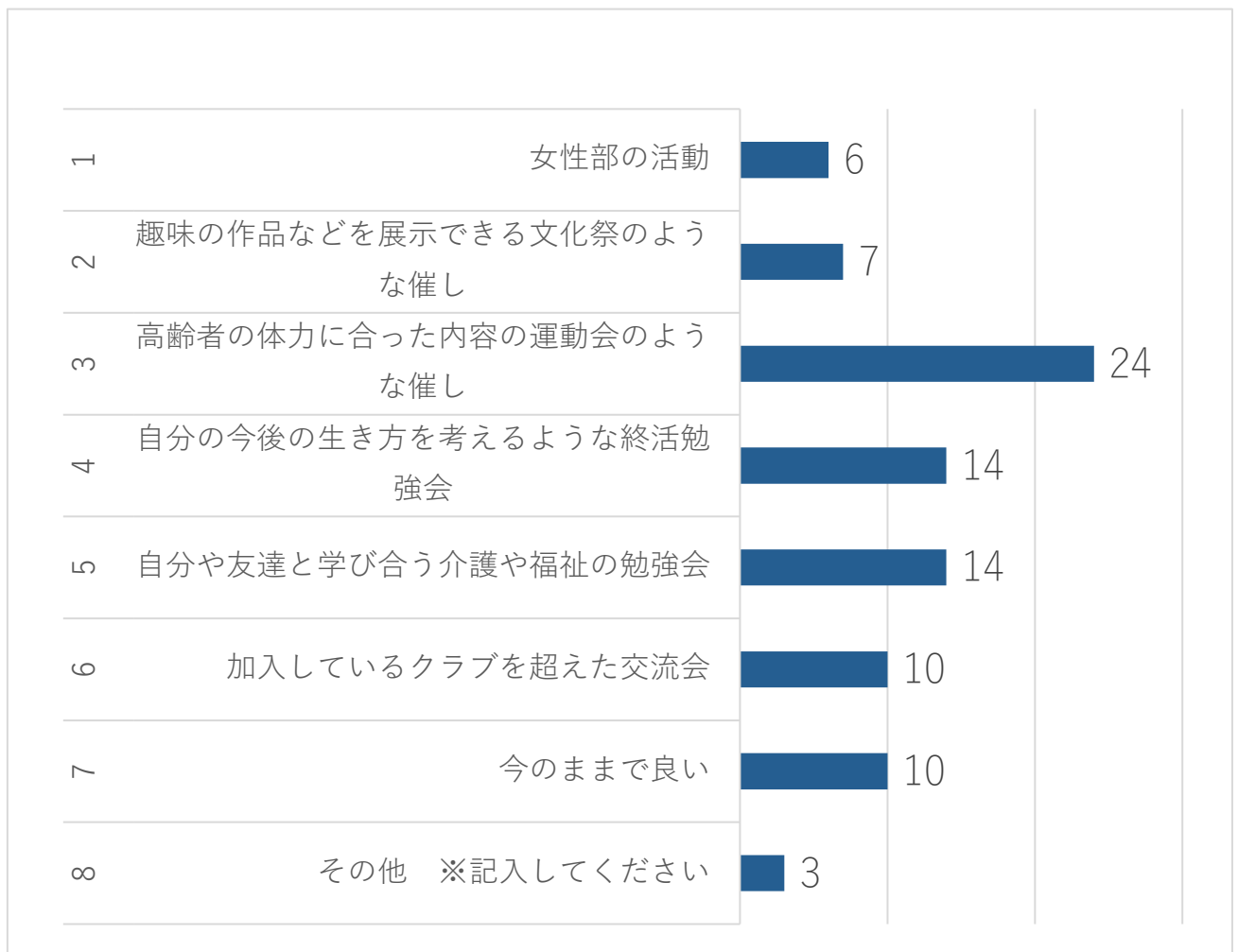


13 「その他意見」

- 解散や消滅はクラブ会員の高齢化や次の世代を引き継ぐ人たちの加入がないから。行政（国・県・町）はどんな方針なのか！クラブ育成やってない！
- 魅力あるクラブ。そのためのPR
- 入会の義務化的な、何か良い方法があれば
- コロナの関係で大人数の行動が制限されている
- 趣味特技を活かしたグループ作りから助け合いに発展したらいいのでは？
- 役員のなり手が無くて休止と聞くと、無理の無い範囲での活動や行事をすればよい

「若い方に加入してもらおう」が最も多く、「若手役員の登用・若手リーダーの育成」「健康づくりに役立つ活動を増やす」と続いています。その他多様な意見が分散して見られ、魅力あるクラブづくりへの意識の高さが表れています。新規加入は、皆さんの思うところであるようです。

Q9-今後町老連で行ってほしい活動は何ですか？

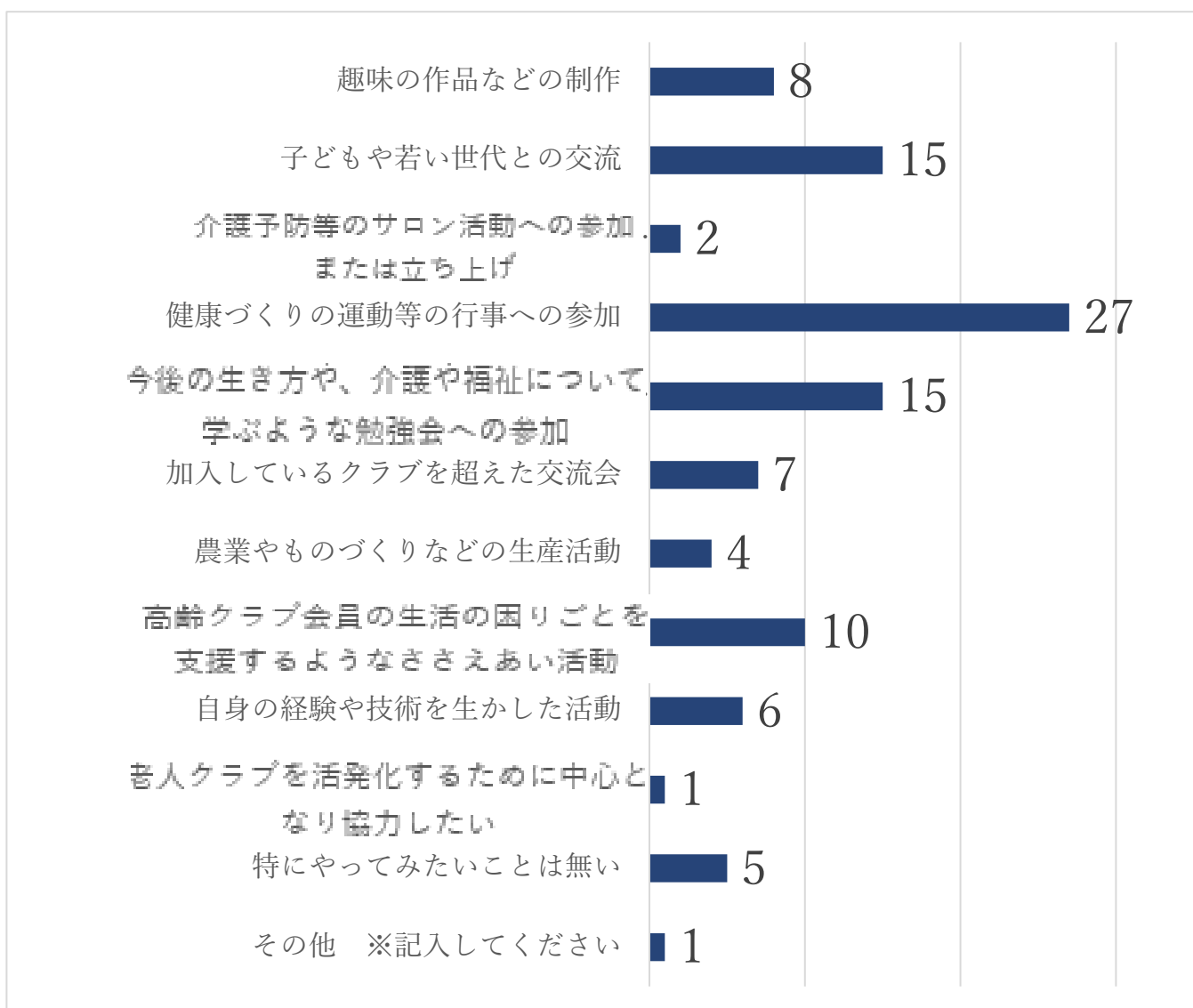


8「その他意見」

- 高齢化が進んでいるため、30分間隔での運動等を考慮するように、またコロナの関係で単老での行事を計画されると良いのでは？
- 高齢者に合った料理会のような催し
- やはり名前を変える。「町老連」＝終活活動になり、最終的に行く状況だろうけど、どうもネガティブな方向になっている。一般的だがシルバーにするとか。

「高齢者に合った内容の運動会のような催し」が最も多く、次いで「・・・終活勉強会」「・・・介護や福祉の勉強会」となっています。これまでの回答からもわかるように、運動・体操・健康に非常に関心高く持たれている方が多く、健康を土台としたクラブ活動を望んでいただいているようです。

Q10-老人クラブ会員として今後あなた自身がやってみたい活動は何ですか？



12「その他意見」

- ・わずらわしい

「健康づくりの運動等への行事の参加」が最も多く、次いで「子どもや若い世代との交流」「今後の生き方や介護や福祉についての学習会」と続いています。こちらでも、健康づくりへの関心の高さが覗えます。また、残念なことにその他意見では「わずらわしい」との回答をいただきました。ご意見を反映した皆さんが楽しいクラブづくりを考えていかなければなりませんね。

Q11-今後の老人クラブについて、ご自由にご意見をお書きください。

自由記述では、多くのご意見が寄せられました。分類しました。

コロナ禍等ご意見

- ・コロナの前までは月1回に食事会やカラオケにゲームなど皆様と楽しんでいました
- ・コロナで公民館の中では出来ず外でゲームなどしましたが、高齢で大変になりそれも止めました。今は、月1回10名ほどで家を回り資源回収をしています。公民館に集めて頑張っています
- ・コロナの前のように会員皆さんと会っておしゃべりが出来るといいねと話しています
- ・コロナで集まることができていないクラブが多いと聞いています。コロナが完全になくなることはないと思われ、どこかで今までの活動が出来る様にする必要大と考えます。リスクをどう考えるか？
- ・コロナで気軽に集まる気持ちがダウンしており何か特別な策も必要か？
- ・コロナ禍でもあり、ますます行事は出来ていません

新規加入について等ご意見

- 若い人の入会がなく全体的に高齢化しています。又役員になる方がいない為、町老連を脱退してる状態に思えます。役員になられた方の内容を少しでも簡略化できれば良いと思います
- 若い人の加入がなく高齢化になりこのまま、衰退し消滅していくのではと思う
- 現在老人クラブにいますが、在籍していない状況の時は、老人クラブなんて！と思っていました。「老」を否定しているわけではなく、「老」に負けないクラブにして行きたいとおもいます。そのためにも「老」を表に出すと50代、60代の方々が入りたいと思うか？70代くらいになり年を取ったからなど、ようがなく入るのでは。まだまだ老人でないと思っている場合はなおさらだと思う
- 新加入者がおらず、高齢化が急速に進んでおり、クラブの存続が危惧されている
- 70歳になったら名前だけでも参加してもらい、無理のない声掛けができる様にしたい
- クラブ会員の勧誘の仕方を考えないと特に若い人の参加できる行事をコロナが落ち着かないとダメかもしれないけど運動等出来る行事をして行きたいと思います
- 団塊の世代（現在の会員）に続く世代の加入がない。私は早く定年になって自由に遊びたいと思っていたが、今後クラブ適齢期の人達は終身仕事をせざるを得ない社会になったのだろう
- 老人クラブへの加入者なし
- クラブの会員減少

高齢化等についてご意見

- 会員の高齢化等で脱会する人も増え、逆に新たに入会できる人員が少なく、又入会したがない
- 一人生活で日々の生活が大変で、病気をすると色々と思いがあっても出来なくなり、ひいては周りの人に迷惑をかける事となり、辞めざるを得なくなる
- アンケートを取るのが遅すぎの感があります。すでに高齢化しており、参加するのが人手が足りなくてやっと参加（同じ方）している様です

役員について等ご意見

- 現在、当老人会の会員さんの男女合わせて 42 名ですが、75～65 歳までの会員は 4 名で、その中には仕事を持っている人もいて、会の役員として行動して頂ける人がなく、会の存続が難しくなり衰退していくばかりです
- 役員等のなる人がいないのが今後の課題です
- 此れからの老人クラブは区の行事に何処だけの人が参加できるかである。連合会の行事を見ると大変多い。大体が会長と中央の役員が出来る様になっていると思うが、それを各地区・区におろすのだろうが、役員は大変だと思う。役員も手不足になって行くのでは…
- 役員のなり手がいない（同じ人が長くなる）

名称について等ご意見

- 老人クラブという名称が古くさい
- 年寄った人が入るものだという考えが多いので、クラブに入ってほしいと頼んでもなかなか入ってくれない。魅力が有るような名称にしてほしい

活動について等ご意見

- あまり多くの行事を企てない様にしてほしい
- 質問事項にありました様にクラブ会員のみにこだわらずに若い人も含めた活動（行事）を行うようにすることもよいのでは（無理のない範囲で）
- 数人（3～4 名位）のグループを創り、1 人暮らし高齢者への定期的訪問の実施
- 参加自由な定期的談話会
- 最近荒れた農地を見ると何とか有効利用出来ないかと思えます。貸し農園に整備して高齢者と若い世代（子育て中）の交流の場として、野菜花作りなどでお互いの健康作りになるのでは？
- 地区を越えて趣味を共有出来るグループ作りをして楽しめたり、活動出来たら？
- 加入しているクラブをこえた交流会、楽しいスポーツいろいろ、子ども若い世代とも年に 1～2 回スポーツ大会等してね
- 要は老人クラブの魅力。入りたいと思うようなクラブ。難しいが。
- 日頃の挨拶や声かけを大切にしたい
- お互いに困った時に助け合い話しやすい場で、自分も楽しみだ

行政等へ向けたご意見

- 地域コミュニティのひとつとして、行政（町、県など）が育成に力を入れてもらいたい。PR等
- 老人関係の施策をやるにしても、クラブがないところは区長からとなるが、区の役員も関心はないようだ。負担が増えるだけだから
- 区に老人部会を設置するよう、町から指導したらよい
- 若い人が入らないと高齢化してしまうので解散や休止の方向となり、難しいことであるが、老人クラブ入会は必須のような教育なり、日常のPRは必要と思う。町や各区での努力も考えないといけないのでは？

その他ご意見

- 大神地区は案外、継続しているようで誇りに思う。先程申し上げた様に区内の会員の輪が出来れば一番望ましい事です
- コロナ禍が終息して世界が一日も早く平和になることを心から祈っています

— 考 察 —

【単位老人クラブ会長調査についての考察】

自由記載を中心に「老人クラブ」という団体の意義についての意見回答が多数寄せられた。特に、区の中で活動する高齢者の団体であるにも関わらず区への理解が乏しいというご意見や、目的の明確化や団体の意味意識付け、単位老人クラブ会長の役割や負担に関し整理するとともに、いつでも相談できる部署の明確化が求められている。

また、会員の高齢化、高齢化による退会や活動弱体、定年延長などによる若い世代の未加入（入会拒否）の増加、これによる担い手不足、補助金の減額等により安定した運営に悩む声も挙げられている。呼称についても、勧誘しづらく加入促進につながらないといった意見が寄せられている。

地域で支え合い楽しむ高齢者のため、クラブの運営について単位老人クラブ会長の苦悩が示された。60歳代から100歳代まで約40年という時間の中で、戦後を境とする世代別の特性や、高齢者の生活環境などについても考慮していく必要がある。

クラブ会員だけでなく広く一般の方へ「老人クラブ」活動について知っていただくことが活性化の鍵となる。

【一般会員意識調査についての考察】

意識調査として実施した結果、自身の「健康づくり」「仲間づくり」「生きがいづくり」を老人クラブの活動に寄せるご意見が多かった。また、新規加入の減少を危惧する声、クラブ会員の高齢化、高齢化による活動不活発化、担い手不足など、単位老人クラブ会長の悩みと同様の悩みを持つ方が多かった。

また、安心した生活を送る日常に挨拶や声掛けの大切さや、趣味を生かした活動の提案など、会員自らが動き魅力的なクラブづくりへの前向きな提案を多くいただいた。

「老人クラブ」という呼称についても、長寿時代、健康と生きがいづくりで仲間と共に生涯現役を目指すなか「老」という文字からくるイメージが現代に合わず、知り合いを誘いにくいという意見があった。

非常に多く寄せられたご意見は、老人クラブという組織の構成員として、クラブ愛から成るものと、社会参加の活動場所の活性化、健康と生きがいづくりを望む現れである。

—今後の方向性について—

老人クラブは、「健康」「友愛」「奉仕」の活動に取り組んでまいりました。明るく豊かで活力ある超高齢化社会の実現に向けて今後も楽しみながら豊かな活動を進めます。

また、調査結果を基に私たち三者は以下の内容に取り組み、皆さんの「健康づくり・仲間づくり・奉仕活動」の支援を行います。

【日出町老人クラブ連合会】

- 休会や解散に至ることなく、地域の高齢者が安心して生活できる老人クラブを支援するため、相談体制を構築し、広くお知らせします
- 社会性に富んだ任意団体である老人クラブの活動を進めるため、好事例を収集し活動に活かします

【日出町（介護福祉課）】

- 単位老人クラブ会長等の負担軽減のため、申請書や報告書など事務の簡略化をこれまで同様に進めます
- 老人クラブの活動について啓発を行います

【日出町老人クラブ連合会事務局（日出町社会福祉協議会）】

- 老人クラブの目的や内容などについての資料を作成します
- 日出町老人クラブ連合会の運営に際し、相談から実施に至るまでのサポートを行います
- 単位老人クラブの方も活用できる助成金等の情報提供を行います

－ 結びに －

老人クラブの起源は、長寿を祝う平安時代の「尚齒会」（しょうしのえ・しょうしかい）、さらには仏教伝来とともに日本に伝わったとされる相互扶助組織「講」にまでさかのぼることができます。

その後、明治 26 年博多高砂会（福岡県福岡市）、明治 40 年楽寿老人会（京都府亀岡市）、大正 14 年上田地区老人会（熊本県小国町）が設立され、現在の老人クラブの基礎が築かれました。

戦後荒廃した社会において、“老後の幸せは自らの手で開こう”とする先覚者たちが、老後に不安を感じている老友や、老後の問題に関心を寄せる人々に呼びかけ、全国各地で次々に老人クラブを結成していきました。

昭和 27 年からは全国各地の社会福祉協議会において老人クラブづくりがすすめられ、同 37 年には全国老人クラブ連合会が設立されました。

その後、時代の変化や高齢者の生活の変化と共に、老人クラブの活動も変容し、健康を進める活動、在宅福祉を支える友愛活動、子ども見守りパトロール活動などを経て現代に至っています。

現在では、「のばそう！健康寿命、担おう！地域づくりを」をメインテーマとし、健康づくりと地域づくりの 2 本柱に、発足当時の「健康・友愛・奉仕」を主とした全国 3 大運動を展開しています。

2019 年から広がった「新型コロナウイルス感染症」は、私たちの生活にも大きく影響し、特に感染リスクの高い高齢者の生活は、活動制限下で大きく様変わりしました。しかし、各单位老人クラブ会長をはじめとするクラブ員の皆様の「友愛活動」により、見守りの活動が大きく広がった数年でした。特に県内比較した際の日出町の「友愛活動」は大きく伸びています。これは多くの高齢者の「孤立防止」につながったと確信しています。

また、本年度は、日出町議会との意見交換会も開催され、老人クラブの活動についてその後議会で審議いただきました。これは活性化につながる大きな一歩だと感じています。

人生 100 年時代。住み慣れた地域で、仲間と共に豊かな人生を送るために。社会性に富んだ老人クラブの活動を改めて考え、今後に繋ぐ契機として調査にご協力いただきました全ての皆様に感謝申し上げます。